－　目　次　－


１　点検・評価の趣旨等　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２
（１）趣旨　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２
（２）目的　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２
（３）対象　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２
（４）点検・評価の流れ　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２
２　教育委員の活動状況　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３
（１）教育長及び教育委員　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３
（２）教育委員会会議　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３
（３）委員協議会　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・４
（４）一宮町総合教育会議　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・５
（５）教育委員会会議以外の主な活動状況　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・５
３　各種施策について　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・７
（１）一宮町教育大綱　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・７
（２）一宮町教育施策（施策表）　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・７
（３）各種施策　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・８
４　各種施策の点検・評価　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・11
（１）評価基準　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・11
（２）外部評価　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・11
（３）点検・評価　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・12
施策１　人生を主体的に切り拓くための学びの確立　・・・・・・・・・・・・・・・12
施策２　道徳性を高める心の教育の推進　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・18
施策３　生涯をたくましく生きるための健康・体力づくりの推進　・・・・・・・・・20
施策４　共生社会の形成に向けた特別支援教育の推進　・・・・・・・・・・・・・・22
施策５　人間形成の場としての活力ある学校づくり　・・・・・・・・・・・・・・・23
施策６　教育現場の重視と教員の質・教育力の向上　・・・・・・・・・・・・・・・27
施策７　多様なニーズに対応した教育の推進　・・・・・・・・・・・・・・・・・・29
施策８　家庭教育への支援と家庭・地域との連携・協働の推進・・・・・・・・・・・31
施策９　人生100年時代を見据えた生涯学習の推進　・・・・・・・・・・・・・・・36
施策10　郷土と国を愛する心と世界を舞台に活躍する能力の育成　・・・・・・・・・・39
施策11　「するスポーツ」「みるスポーツ」「ささえるスポーツ」の推進　・・・・・・44

# 1　点検・評価の趣旨等

## （1）趣旨

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 26 条第１項により、教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出するとともに、公表することとされています。

一宮町教育委員会では、この規定に基づき令和６年度における事務の管理及び執行状況について点検・評価します。

> ○地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）
>
> 第 26 条　教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第１項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第４項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その　　結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。
>
> ２　教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

## （2）目的

教育委員会に属する事務の管理及び執行状況について点検及び評価を行うことで、効果的な教育行政の推進に資するとともに、住民への説明責任を果たすことを目的とします。

## （3）対象

「一宮町教育大綱」に基づいた「令和６年度一宮町教育施策」により進めた事業を対象として、点検・評価を実施しました。各事業の課題等を明らかにするとともに、今後の方向性について示しました。

## （4）点検・評価の流れ

①　担当係での報告書の作成
②　教育委員会による点検・評価
③　議会への報告
④　町ホームページによる公表

## ２　教育委員の活動状況

### （１）教育長及び教育委員

| 役職名 | 氏　名 | 任　期 |
|---|---|---|
| 教育長 | 竹之内　達生 | 令和７年２月１日～令和 10 年１月 31 日 |
| 教育長職務代理者 | 小髙　隆 | 令和３年 10 月１日～令和７年９月 30 日 |
| 委　員 | 立花　亜由美 | 令和５年１月 29 日～令和９年１月 28 日 |
| 委　員 | 川城　健 | 令和３年９月 24 日～令和７年９月 23 日 |
| 委　員 | 関　信夫 | 令和５年 10 月１日～令和９年９月 30 日 |

### （２）教育委員会会議

令和６年度は定例会を 12 回開催しました。

また、定例会とは別に教育委員、町長及び教育委員会事務局で意見交換等も行いました。

○開催回数（令和６年４月～令和７年３月）

| 会議 | 定例会 | 臨時会 | 計 |
|---|---|---|---|
| 回数 | 12 回 | 0 回 | 12 回 |

○議決事項等

| 定例会 | 開催日 | 議案番号及び議案名 |
|---|---|---|
| ４月 | ４月 16 日 | 議案第１号　社会教育委員の任命について<br>議案第２号　一宮町立学校における学校運営協議会の委員の委嘱及び任命について<br>議案第３号　一宮町教育支援委員の委嘱について<br>議案第４号　文化財登録に係る文化財審議委員会への諮問について<br>議案第５号　一宮町中央公民館建設検討委員会設置要綱の制定について<br>（承認事項：１件　報告事項：７件） |
| ５月 | ５月 21 日 | 議決事項なし（承認事項：１件　報告事項：４件） |
| ６月 | ６月 11 日 | 議決事項なし（報告事項：８件） |
| ７月 | ７月 16 日 | 議案第１号　一宮町中央公民館建設検討委員会委員の委嘱について<br>（報告事項：３件） |
| ８月 | ８月 20 日 | 議案第１号　一宮町教育委員会傍聴人規則の制定について<br>（報告事項：２件） |

| | | |
|---|---|---|
| ９月 | ９月17日 | 議案第１号　教育委員会点検・評価（令和５年度事業）について<br>（協議事項：１件　報告事項：７件） |
| 10月 | 10月８日 | 議案第１号　令和７年度教育予算等の要望について<br>（報告事項：２件） |
| 11月 | 11月12日 | 議案第１号　一宮町史調査員の委嘱について<br>議案第２号　一宮町部活動地域移行推進協議会委員の委嘱について<br>議案第３号　一宮町要保護及び準要保護児童生徒就学援助に関する要綱の一部を改正する告示の制定について<br>（報告事項：４件） |
| 12月 | 12月17日 | 議案第１号　一宮町要保護及び準要保護児童生徒就学援助に関する要綱の一部を改正する告示の制定について<br>（報告事項：６件） |
| １月 | １月21日 | 議決事項なし<br>（報告事項：１件） |
| ２月 | ２月18日 | 議案第１号　一宮町学校給食費補助金要綱の一部を改正する告示の制定について<br>議案第２号　令和７年度教科用図書長生採択地区協議会規約の制定の承認について<br>議案第３号　教育功労者の表彰について<br>（報告事項：０件） |
| ３月 | ３月25日 | 議案第１号　令和６年度末県費負担教職員の内申について<br>議案第２号　職員の任免について<br>議案第３号　一宮町招致外国青年就業規則の一部を改正する規則の制定について<br>議案第４号　一宮町ティーム・ティーチング担当非常勤講師設置規則の一部を改正する規則の制定について<br>議案第５号　一宮町英語検定料補助金交付要綱の一部を改正する告示の制定について<br>（報告事項：６件） |

## （３）委員協議会

一宮町教育委員会行政組織規則第６条の規定により、教育長は、調査又は研究を要するものがあると認めるときは委員協議会を招集することができるとされており、令和６年度は１回開催しました。

○議題等（令和６年４月～令和７年３月）

| 会議 | 開催日 | 協議・調整事項 |
|---|---|---|
| 第１回 | ６月25日 | ・一宮町中央公民館検討委員会公募委員の選定について |

## （４）一宮町総合教育会議

総合教育会議は、町長と教育委員会で構成され、町長と教育委員会が円滑に意思疎通を図り、当町における教育の課題及び目指す姿等を共有しながら、相互に連携して教育を推進することを目的としており、令和６年度は１回開催しました。

○議題等（令和６年４月～令和７年３月）

| 会議 | 開催日 | 協議・調整事項 |
| --- | --- | --- |
| 第１回 | １月 21 日 | ・『新編一宮町史』編さん事業について<br>・一宮町中央公民館整備方針について<br>・令和７年度一宮町教育施策について<br>・一宮町教育大綱について |

## （５）教育委員会会議以外の主な活動状況

教育委員は、教育委員会会議への出席の他に学校を訪問して教育現場の状況を把握するとともに、議案や教育課題等に対する理解を深め、多面的な角度から議論を行うため、教科書採択会議、関係団体等が主催する研修会及び総会に参加しました。

また、教育委員会会議で協議する案件等について、立案の経緯や問題点を含め教育委員と事務局が情報交換、意見交換を行うことで課題意識を共有しました。

○学校訪問

| 開催日 | 訪　問　先 |
| --- | --- |
| 令和６年６月 27 日 | 一宮中学校（東上総教育事務所　所長訪問時） |
| 令和６年９月 30 日 | 東浪見小学校（東上総教育事務所　次長訪問時） |

○卒業式

| 開催日 | 訪　問　先 |
| --- | --- |
| 令和７年３月 11 日 | 一宮中学校 |
| 令和７年３月 13 日 | 東浪見小学校 |
| 令和７年３月 14 日 | 一宮小学校 |

○運動会

| 開催日 | 訪　問　先 |
| --- | --- |
| 令和６年５月 18 日 | 一宮中学校 |
| 令和６年 10 月 19 日 | 一宮小学校 |
| 令和６年９月 26 日 | 東浪見小学校 |

○教科書採択

| 開催日 | 訪　問　先 |
|---|---|
| 令和６年５月29日 | 第１回長生地区教科書採択協議会 |
| 令和６年７月16日 | 第２回長生地区教科書採択協議会 |

○研修会等

| 開催日 | 訪　問　先 |
|---|---|
| 令和６年４月26日 | 長生地区市町村教育委員会連絡協議会定期総会 |
| 令和６年５月23日 | 千葉県市町村教育委員会連絡協議会定期総会（流山市） |
| 令和６年５月31日 | 関東甲信越静市町村教育委員会総会及び研修会（茨城県古河市） |
| 令和６年９月27日 | 長生地区市町村教育委員会連絡協議会第１回理事会 |
| 令和６年12月２日<br>～12月27日 | 千葉県市町村教育委員会連絡協議会<br>第１回教育長・教育委員研修会（動画配信） |
| 令和７年１月17日 | 長生地区市町村教育委員会連絡協議会研修会 |
| 令和７年１月26日 | 千葉県市町村教育委員会連絡協議会<br>第２回教育長・教育委員研修会（流山市） |
| 令和７年２月７日 | 長生地区市町村教育委員会連絡協議会第２回理事会 |
| 令和７年３月19日 | 長生地区市町村教育委員会連絡協議会教育功労者表彰式及び第３回理事会 |

○その他

| 開催日 | 訪　問　先 |
|---|---|
| 令和６年４月３日 | 教育委員と学校管理職等との顔合わせ会 |
| 令和６年10月８日 | 令和７年度教育予算等の要望書提出 |

## 3　各種施策について

### （１）一宮町教育大綱

一宮町教育大綱により定めた目標及び基本理念は、次の通りです。

#### ①目標

『将来の町と国の担い手となり　世界に羽ばたく若者の育成』

～学校・家庭・地域で「ふれる」､「かかわる」、そして「つながる」を合言葉に～

#### ②基本理念

子どもたちが自己肯定感を高め社会主権者として、「町民としての誇り」を抱いて未来への第一歩を踏み出すために、学校・家庭・地域社会が連携を深め、子どもたちに関わっていく。更には、第４次産業革命の時代を迎える中、創造力・健全な批判精神・おもてなし・道徳性・倫理性などの「人間の強み」を育み、グローバル時代に必要な資質・能力を高め、地域を支えるとともに「世界とつながる人材」を育てることを基本理念とする。

### （２）一宮町教育施策（施策表）

点検・評価は、一宮町教育大綱に基づいた一宮町教育施策について実施しています。

| 基本目標 | | 施　策 | |
|---|---|---|---|
| １　子どもの目指す姿 | 高い志を持ち、地域の未来を切り拓く、一宮町の子供を育てる | 1 | 人生を主体的に切り拓くための学びの確立 |
| | | 2 | 道徳性を高める心の教育の推進 |
| | | 3 | 生涯をたくましく生きるための健康・体力づくりの推進 |
| | | 4 | 共生社会の形成に向けた特別支援教育の推進 |
| ２　学校の目指す姿 | 「自信」と「安心」を育む学校をつくる | 5 | 人間形成の場としての活力ある学校づくり |
| | | 6 | 教育現場の重視と教職員の質・教育力の向上 |
| | | 7 | 多様なニーズに対応した教育の推進 |
| ３　家庭・地域の目指す姿 | 家庭と地域の絆を深め、全ての人が活躍できる環境を整える | 8 | 家庭教育への支援と家庭・地域との連携・協働の推進 |
| | | 9 | 人生 100 年時代を見据えた生涯学習の推進 |
| ４　町民の目指す姿 | 世界を舞台に活躍する人材を育成し､「楽しい」「喜び」に満ちた豊かな社会を創る | 10 | 郷土と日本を愛する心に加え世界を舞台に活躍する能力の育成 |
| | | 11 | 「するスポーツ」「みるスポーツ」「ささえるスポーツ」の推進 |

## （３）各種施策

| 基本目標１ | 子どもの目指す姿 | 高い志を持ち、未来を切り拓く子供を育てる |
|---|---|---|

| 【施策１】人生を主体的に切り拓くための学びの確立 | 主な事業等 |
|---|---|
| ①子供の学習意欲を高め、学力向上を図る取組の推進<br>②全ての子供が、本に親しみながら成長していくための読書活動<br>③子供のコミュニケーション能力を伸ばす外国語教育の充実<br>④学びの質を高め、情報活用能力を育むＩＣＴ利活用の推進<br>⑤学びを将来へとつなぐ系統的なキャリア教育の推進<br>⑥幼児教育の質の向上と初等教育への円滑な接続 | ・ブックスタート<br>・学校図書室環境整備<br>・学習サポーター等の派遣<br>・塾講師を活用した学習支援モデル事業<br>・サマースクール<br>・サタデースクール<br>・ステップアップスクール<br>・ＩＣＴ活用推進事業<br>・キャリア教育<br>・プロジェクト学習<br>・英語検定補助事業<br>・中学生語学研修事業 |

| 【施策２】道徳性を高める心の教育の推進 | 主な事業等 |
|---|---|
| ①豊かな情操や道徳心を育む教育の推進<br>②安心して学べる環境を実現するいじめ防止対策等の推進<br>③人権を尊重し、不合理な差別を許さない、心を豊かにする教育 | ・生徒指導<br>・心のバリアフリー教育<br>・福祉教育 |

| 【施策３】生涯をたくましく生きるための健康・体力づくりの推進 | 主な事業等 |
|---|---|
| ①体力向上を主体的に目指す子供の育成<br>②子供の健康を守る学校保健の充実<br>③食を通じた健康づくりの推進 | ・保健管理<br>・保健教育<br>・学校給食<br>・食育 |

| 【施策４】共生社会の形成に向けた特別支援教育の推進 | 主な事業等 |
|---|---|
| ①連続性のある「多様な学びの場」と支援の充実<br>②早期からの教育相談と支援体制の充実 | ・特別支援教育 |

| 基本目標２ | 学校の目指す姿 | 「自信」と「安心」を育む学校をつくる |
|---|---|---|

| 【施策５】人間形成の場としての活力ある学校づくり | 主な事業等 |
|---|---|
| ①地域に開かれた魅力ある学校づくり<br>②豊かな学びを支える学校・学習環境づくり<br>③安全・安心な学びの場づくりの推進 | ・学校施設整備<br>・水泳学習環境整備<br>・交通安全指導<br>・通学路の安全対策<br>・防犯対策 |

| 【施策６】教育現場の重視と教員の質・教育力の向上 | 主な事業等 |
|---|---|
| ①熱意あふれる人間性豊かな職員の採用<br>②信頼される質の高い教員の育成<br>③教職員が子供と向き合う時間を確保するための取組の推進 | ・教職員の働き方改革<br>・教職員の指導力向上<br>・ＡＬＴの配置事業<br>・部活動の地域移行 |

| 【施策７】多様なニーズに対応した教育の推進 | 主な事業 |
|---|---|
| ①不登校児童生徒の状況に応じた支援の推進<br>②学びの直しなどの再チャレンジの機会の充実<br>③経済的・家庭的理由など様々な困難への支援<br>④外国人児童生徒等の受け入れ体制の整備 | ・スクールカウンセラー配置事業<br>・就学援助（奨励）事業<br>・学校給食費無償化事業<br>・給食食材物価高騰対策事業 |

| 基本目標３ | 家庭・地域の目指す姿 | 家族と地域の絆を深め、全ての人が活躍できる環境を整える |
|---|---|---|

| 【施策８】家庭教育への支援と家庭・地域との連携・協働の推進 | 主な事業 |
|---|---|
| ①全ての教育の出発点である家庭教育への支援<br>②地域全体で子供を育てる家庭･地域と学校との協働体制の構築<br>③虐待など不適切な養育から子供を守る取組の充実・強化 | ・放課後児童健全育成事業（学童保育）<br>・家庭教育支援<br>・防災教育<br>・環境教育<br>・地域からの学び<br>・学校評議員<br>・学校運営協議会<br>・世代間交流<br>・青少年健全育成事業<br>・子ども会育成会<br>・ジュニアリーダーの育成 |

| 【施策９】人生 100 年時代を見据えた生涯学習の推進 | 主な事業 |
| --- | --- |
| ①町民への学習機会の提供<br>②生涯学習の成果を生かし社会に貢献できる仕組みづくり<br>③障害のある人の生涯を通じた多様な学習活動の推進 | ・中央公民館の運営<br>・まちの図書室の運営<br>・創作の里の運営<br>・公民館活動<br>・総合文化祭<br>（芸能音楽祭及び文化祭）<br>・教育講演会 |

| 基本目標４ | 町民の目指す姿 | 世界を舞台に活躍する人材を育成し、「楽しい」「喜び」に満ちた豊かな社会を創る |
| --- | --- | --- |

| 【施策 10】郷土と国を愛する心と世界を舞台に活躍する能力の育成 | 主な事業 |
| --- | --- |
| ①郷土と国の歴史や伝統文化等について学ぶ教育の推進<br>②多様な文化を認め合う国際社会の担い手の育成<br>③文化に触れ親しむ環境づくり | ・社会科副読本の活用<br>・20 歳の祝典<br>・文化活動の情報発信<br>・文化財保護事業<br>・一宮町歴史資料展示室の企画展示<br>・町史編さん事業<br>・教育功労者表彰<br>・懸垂幕・横断幕の掲示 |

| 【施策 11】「するスポーツ」「みるスポール」「ささえるスポーツ」の推進 | 主な事業 |
| --- | --- |
| ①人生を豊かにするための運動・スポーツの推進<br>②ともに楽しめる障害者スポーツの推進<br>③競技力の向上とスポーツ環境の整備 | ・社会体育施設の運営<br>・生涯スポーツ |

# 4　各種施策の点検・評価

## （１）評価基準

各種施策の評価基準は、次の通りです。

| 評価 | 基　準 | |
|---|---|---|
| A | 目標を達成できた、または目標達成に向けて順調に進んでいる | |
| | (評価基準) | ・目標を達成した<br>・効果的で適切な取り組みを行っている<br>・目標達成に向けて成果をあげている |
| B | 概ね目標を達成できた、または目標達成に向けて進んでいる | |
| | (評価基準) | ・概ね目標を達成した<br>・効果的な取り組みを行っている<br>・目標達成に向けて一定の成果をあげている |
| C | 取り組みを行っている、または目標達成に向けて多少の成果をあげている | |
| | (評価基準) | ・取り組みを行っている<br>・目標達成に向けて多少の成果をあげているが、努力を要する |
| D | 目標の達成ができなかった、または目標の達成は困難である | |
| | (評価基準) | ・取り組みが行われていない<br>・目標達成に向けた効果はあがっていない<br>・改善すべき課題がある |
| — | 災害等により事業が実施できなかった場合には評価しない | |

## （２）外部評価

点検・評価の客観性を担保するため、教育に関し学識経験を有する方からご意見やご助言を頂きました。ご意見等をいただいた方々のお名前及び外部評価は次の通りです。

| 所　属・職<br>氏　　名 | 外部評価 |
|---|---|
| 千葉県教育庁<br>東上総教育事務所<br>指導室長<br>三橋　礼子 | ・全体を通してそれぞれの施策について、その成果や課題を丁寧に整理し、分析しておりとても分かりやすい。<br>・相手や方法が同じ又は似ている事業はその境が曖昧になるため、記載方法を工夫するとともに教育委員会と学校でその目的をよく共有する必要がある。<br>・公民館は生涯学習の大切な場である。放課後の居場所作りとも関連して、中学生や高校生の学びの場としての活用も考えてほしい。若い世代が公民館活動に関わることで異世代交流も可能となり、学びを深め、地域への愛着に繋げられることから、若者の公民館活動の好事例を参考に検討してほしい。<br>・一宮町の全ての子どもたちが自己肯定感を高め、「町民としての誇り」を抱いて大きく羽ばたけるよう願っている。 |

| | |
|---|---|
| 一宮町社会教育委員<br>議長<br>大場　謙次郎 | ・それぞれの施策が「事業名」「事業内容」「主な事業費」「現状と課題」「求める成果」が把握しやすく整理されていて分かりやすい。<br>・学校教育・社会教育に関わる全ての方々のご尽力に感謝するとともに、一宮町教育行政の益々の発展を祈念する。 |

## （３）点検・評価

【基本目標１　子どものめざす姿】

●施策１　人生を主体的に切り拓くための学びの確立

| 事業名 | ブックスタート | 担当課・係 | 教育課社会教育係<br>福祉健康課健康係 |
|---|---|---|---|
| | | 評　価 | A |
| 主な事業費<br>(決算額) | ブックスタートパック購入費：84,012 円 | | |
| 事業内容 | 赤ちゃんと保護者が絵本を通して親子のふれあいや絆を深めるきっかけづくりを目的として、毎月実施する０歳４か月児の乳児相談にあわせて読み聞かせを行い、絵本をプレゼントする子育て支援事業。 | | |
| 現状と課題 | ・本事業は 16 年目を迎え、令和５年５月までは新型コロナウイルス感染症の影響により、対面での開催ができない状況が続いていたが、令和６年度は従前通りボランティアによる読み聞かせを実施し、前年同様 50 組の参加があった。<br>・令和７年度以降、３歳児検診で絵本をプレゼントするセカンドブックの導入を検討している。ブックスタートと合わせて実施することで、子ども読書活動の推進に繋げていく。 | | |
| 求める成果 | 赤ちゃんと保護者が絵本を通じて心を通わせ、健やかな成長につなげるとともに、図書室利用のきっかけを作り、子どもたちの読書活動の推進を図る。 | | |

| 事業名 | 学校図書室環境整備 | 担当課・係 | 教育課学校教育係 |
|---|---|---|---|
| | | 評　価 | B |
| 主な事業費<br>(決算額) | ●東浪見小学校<br>図書管理システム保守委託料：77,220 円　図書購入費：159,819 円<br>●一宮小学校<br>図書管理システム保守委託料：77,220 円　図書購入費：439,857 円<br>●一宮中学校<br>図書管理システム保守委託料：77,220 円　図書購入費：299,954 円 | | |
| 事業内容 | 児童生徒の知識や技能の習得や思考力、判断力及び表現力等の育成を目的に、「学習情報」の習得の場として学校図書館の機能を向上させる。 | | |
| 現状と課題 | ・図書の管理や貸出返却をスムーズに行うために図書管理システムを導入している。<br>・図書支援員を配置し、図書での情報収集の啓発やおすすめ図書の紹介、こまめな展 | | |

| | |
|---|---|
| | 示の入れ換えなどを行い、読書習慣を推進している。<br>・令和６年度図書購入数<br>東浪見小学校 60 冊・一宮小学校 248 冊・一宮中学校 153 冊 |
| 求める成果 | 学校図書室の機能向上に努め、より多くの児童生徒が図書室を利用するよう読書活動の推進を図る。 |

| | | | |
|---|---|---|---|
| 事業名 | 学習サポーター等派遣事業 | 担当課・係 | 教育課学校教育係 |
| | | 評　価 | A |
| 事業内容 | 「学習サポーター派遣事業」による授業の質の向上に加え、教職員の負担軽減を目的とした「小学校専科非常勤講師等配置事業」を活用し、手厚い学習支援を実施する。 | | |
| 現状と課題 | 授業における学習支援や家庭学習の充実や習慣化に向けた支援を行い、児童生徒の基礎学力の底上げや意欲向上につながった。 | | |
| 求める成果 | より手厚い学習支援を実施し、児童生徒の学力向上を図る。 | | |

| | | | |
|---|---|---|---|
| 事業名 | 塾講師を活用した学習支援モデル事業 | 担当課・係 | 教育課学校教育係 |
| | | 評　価 | A |
| 事業内容 | 小学校６学年の数学科、中学校３学年の数学科及び英語科を対象に、塾講師による授業補助４時間と放課後の補習２時間を週２日、25 週程度実施する。 | | |
| 現状と課題 | ・一宮小学校と一宮中学校が県教育委員会の学力向上施策の一つである「塾講師を活用した学習支援モデル事業」の実施校となり、塾講師による授業補助と補習を実施した。<br>・県教育委員会の効果検証において、教科テストの結果、「算数・数学」「英語」ともに学力向上が見られ、小学校においては補習に参加した児童の学力向上が顕著に見られたという結果であった。また、児童生徒の多くが当事業に対して肯定的な回答をしており、学習意欲の向上につながっている。 | | |
| 求める成果 | 授業補助で児童生徒の課題を見取り、それをもとに補習を行うことで児童生徒の学力向上を図る。 | | |

| | | | |
|---|---|---|---|
| 事業名 | サマースクール | 担当課・係 | 教育課学校教育係 |
| | | 評　価 | A |
| 主な事業費<br>（決算額） | ●東浪見小学校　サマースクール謝礼：24,000 円<br>●一宮小学校　　サマースクール謝礼：22,000 円 | | |
| 事業内容 | 小学生を対象とした高校生ボランティアによる個別指導を実施する。 | | |
| 現状と課題 | ・夏季休業中に開催し、５日間で延べ 395 名（令和５年度 376 名）の児童が参加した。参加した児童はそれぞれの課題や各教科の問題に取り組み、指導に当たった高校生ボランティアと共に充実した時間を共有することができた。<br>・参加費は無料とし、児童の学習意識の向上に寄与した。 | | |

| | |
|---|---|
| 求める成果 | 学習習慣を確立し、学力向上を図る。 |

| | | | |
|---|---|---|---|
| 事業名 | サタデースクール | 担当課・係 | 教育課社会教育係 |
| | | 評　価 | A |
| 主な事業費<br>（決算額） | 学習支援員報償費：1,274,280 円<br>学校・家庭・地域連携協力推進事業費補助金（県補助金）：704,000 円 | | |
| 事業内容 | 小学４・５年生を対象に算数の基礎的・基本的な補習学習や能力に応じた発展的な学習支援を実施する。 | | |
| 現状と課題 | ・開講から 10 年目を迎え、土曜日に年 19 回実施した。児童 40 名（令和５年度 47 名）が参加し、地域住民や教職志望の大学生・高校生 10 名を含む 19 名の学習支援員と熱心に学習した。<br>・参加費は無料（教材費のみ実費）とし、児童の基礎学力の向上に寄与した。 | | |
| 求める成果 | 学習意欲を高め、学力向上を図る。 | | |

| | | | |
|---|---|---|---|
| 事業名 | ステップアップスクール | 担当課・係 | 教育課社会教育係 |
| | | 評　価 | A |
| 事業内容 | 中学３年生を対象に数学と英語の基礎力向上とした学習支援を実施する。 | | |
| 現状と課題 | ・開講から６年目を迎え、夏季休業中や土曜日に年 31 回実施した。生徒 16 名（令和５年度 15 名）が参加し、熱心に学習に取り組んだ。<br>・参加費は無料とし、生徒の基礎学力の向上に寄与した。 | | |
| 求める成果 | 学習意欲を高め、学力向上を図る。 | | |

| | | | |
|---|---|---|---|
| 事業名 | ＩＣＴ活用推進事業 | 担当課・係 | 教育課学校教育係 |
| | | 評　価 | B |
| 主な事業費<br>（決算額） | ●東浪見小学校<br>ICT 機器整備支援委託料：866,800 円　ネットワークアセスメント業務委託料：641,667 円<br>GIGA スクール備品購入費：958,760 円（タブレット端末５台・電子黒板１台）<br>修繕料：34,100 円（タブレット端末１台）<br>●一宮小学校<br>ICT 機器整備支援委託料：866,800 円　ネットワークアセスメント業務委託料：641,667 円<br>GIGA スクール備品購入費：1,661,000 円<br>（タブレット端末 10 台・Chrome Cast４台・プロジェクター４台）<br>修繕料：269,500 円（タブレット端末８台）<br>●一宮中学校<br>ICT 機器整備支援委託料：866,800 円　ICT 支援員配置委託料：1,848,000 円<br>ネットワークアセスメント業務委託料：641,666 円<br>GIGA スクール備品購入費：1,565,080 円 | | |

| | |
|---|---|
| | （タブレット端末７台・電子黒板１台・充電保管庫２台）<br>修繕料：199,100 円（タブレット端末８台）<br>●その他<br>公立学校情報機器活用支援体制整備費補助金（国庫補助金）：1,057,000 円 |
| 事業内容 | 各小中学校のＩＣＴ環境を整備し、これらを適切に活用して学習活動を充実させることで、児童生徒の「情報活用能力」や「論理的思考力」を育成するとともに、メディアリテラシー教育を実施する。 |
| 現状と課題 | ◆東浪見小学校<br>・各学年の授業の補助にＩＣＴ支援員に入ってもらい、授業展開をした。<br>・各学年に応じたプログラミング学習（ビスケット、Hour of Code、スクラッチ）に取り組んだ。<br>・タブレット端末を用いて、課題の提出や振り返り等を行い、児童がタブレットを活用する場面を増やした。<br>・教職員のクラスルームを作成し、アンケートや伝達事項等、情報共有を図った。<br>・ＩＣＴを活用した授業が円滑に進み、児童の学習意欲を高めることに繋がった。<br>◆一宮小学校<br>・低学年のうちからタブレット端末に触れる機会を設けるため、令和５年度から一宮タイム（朝自習）において、週１回のタブレット端末を利用した学習を位置付けた。<br>・算数や理科の教科書に掲載されている無料ソフト等の教材を用い、物事を順序立てて思考する「プログラミング的思考」を養った。<br>・ＳＮＳトラブル防止のため、５・６年生を対象に茂原警察署生活安全課職員４年生から６年生を対象にＮＰＯ法人企業教育研究会の講師による情報モラル教育を実施し、ＳＮＳに潜む危険性や個人情報の扱いについて学んだ。<br>◆一宮中学校<br>・タブレット端末を用いて、授業の最後に行う振り返り学習等を実施している。<br>・不登校生徒に対してはオンライン授業受講のために端末を貸し出し、学習の補償につなげており、今後も継続して実施していく。<br>・聴覚障害を持った生徒が積極的に授業に参加できるよう、入出力装置（Live Talk）を活用した。<br>◆教育委員会<br>・学習活動の充実のため、全クラスに電子黒板等の導入を進めており、東浪見小学校と一宮中学校は電子黒板１台、一宮小学校はプロジェクター４台を新たに導入した。<br>・タブレット端末は購入から４年目となり、今後は故障対応が増加する見込みであり、予備機を含め使用可能台数の不足が見込まれたため、東浪見小学校に５台、一宮小学校に 10 台、一宮中学校に７台のタブレット端末を新たに購入した。<br>・タブレット端末の利活用が進んだことにより、令和２年度に整備した校内通信ネットワークの脆弱性が課題となっていることから、ネットワークアセスメントを実 |

| | |
|---|---|
| | 施し、今後の改善に向けた対策を検討していく。<br>・ＩＣＴ機器のサポートや授業支援の充実を図るため、令和４年度に引き続き各小中学校にＩＣＴ支援員を派遣した。<br>・文部科学省による教育用デジタル教科書導入検証事業を活用し、各小中学校に英語（外国語）・算数（数学）のデジタル教科書を導入した。 |
| 求める成果 | 今後もＩＣＴの発展に伴う整備をするとともに、よりタブレット端末等を活用する授業を実施しながら、「情報活用能力」や「論理的思考力」を育成し、その力を活用する場の提供を図る。また、オンラインを活用した授業を実施するなど、教室以外の学習による「学びの場」の確保を図る。 |

| 事業名 | キャリア教育 | 担当課・係 | 教育課学校教育係 |
|---|---|---|---|
| | | 評　価 | A |
| 事業内容 | 発達段階に通して、子どもたちが自らの言葉で自己表現する機会を増やすなど、自己理解とキャリア意識を深めるとともに、様々な業種や職種や産業の理解に繋げるために地域や企業と連携した職業体験やボランティアを実施する。 | | |
| 現状と課題 | ◆東浪見小学校<br>・各単元において、活動する際には地域で活動する大人と関わる機会を設定した。情報収集をする際には、１名以上の地域の大人と関わりをもつことを必須とした。地域の大人から情報収集することの意義に気付いた児童も多かった。児童が大人と関わることで、自分たちが設定したゴールまでの見通しを明確に持てるようになり、プロジェクトが自分事になり主体的に取り組む児童も増えた。<br>◆一宮小学校<br>・事前に職業調べを行い、職場見学を実施した。<br>◆一宮中学校<br>・２年生を対象に「職業に関する学習」として、地元企業を中心とした８つの事業所から講師を招き、教育講演会を開催した。生徒はそれぞれの職業を書籍やインターネット等で調べ、質問事項をまとめる事前学習を行った上で講演会に出席した。時間帯を分け、２つの講座に参加する体制を整えることで、「働くこと」への理解をより明確にし、自分の適性を知ることで進路選択の手段として学ぶことができた。また、地域の魅力に気付き、地域で働く方々とのつながりが深まる機会となった。 | | |
| 求める成果 | 社会的・職業的自立に向け、自らの役割の価値や自分との関係を見い出しながら、将来なりたい自分を明確にし、夢の実現に向けた支援を図る。 | | |

| 事業名 | プロジェクト学習 | 担当課・係 | 教育課学校教育係 |
|---|---|---|---|
| | | 評　価 | A |
| 事業内容 | 児童生徒が自分たちの住んでいる町について体験を通して知ることで自主的に課題を見つけ、探求的な見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を通して課題解決のための資質や能力を育成する。 | | |

| | |
|---|---|
| 現状と課題 | ①プロジェクト学習（総合）<br>◆一宮小学校<br>・令和４年度にスタートした「いちのみやまちづくりプロジェクト 2024」を実施し、６年生はふるさとの課題とその解決方法を考えてまとめた。児童は 17 グループに分かれ、町内の農家や商店、自然保護団体、町役場職員等の助言を参考にそれぞれのテーマに挑戦した。また、学習した内容を下級生に向けて発表し、次年度の学習につなげた。<br>②まちたんけん等の一宮町内の学習（生活科・総合）<br>◆東浪見小学校<br>・２、３年生が、町の商店や農家等を見学し、地域を知る学習を実施した。<br>３年生では、茂原市や白子町の小学校とオンライン交流して、学んだことを伝え合う機会を設定した。プロジェクト型学習を通して、持続可能な社会の創り手に必要とされる、「問題や問い、仮説等の立て方、問題解決に関する思考力や協働学習等の能力や態度」の育成を図った。<br>◆一宮小学校<br>・２、３年生がまちの商店や農家等を見聞きして、地域を知る学習を実施した。 |
| 求める成果 | プロジェクト学習では変化の激しい社会に対応し、生きていくための力となる課題解決力や判断力、コミュニケーション力の育成を図る。 |

| 事業名 | 英語検定補助事業 | 担当課・係 | 教育課学校教育係 |
|---|---|---|---|
| | | 評　価 | B |
| 主な事業費（決算額） | 英語検定受験補助金：108,000 円 | | |
| 事業内容 | （公財）日本英語検定協会が実施する実用英語技能検定（英検）を受験し、合格した中学生の保護者に対し、検定料を補助する。（年に１回限り 2,000 円／人） | | |
| 現状と課題 | ・令和６年度の英検合格者は以下の通り。(( )内は昨年度実績) | | |
| 求める成果 | 中学生の英検受験の機会を拡大し、英語力や英語学習の向上を図る。 | | |

| 学年/級 | ２級 | 準２級 | ３級 | ４級 | ５級 | 計 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| １年生 | －(－) | －(－) | －(2) | ４人(7) | 14 人(9) | 18 人(18) |
| ２年生 | １人(－) | －(2) | ５人(6) | ９人(8) | －(1) | 15 人(17) |
| ３年生 | －(－) | ５人(3) | 15 人(14) | １人(1) | －(－) | 21 人(18) |
| 計 | １人(－) | ５人(5) | 20 人(22) | 14 人(16) | 14 人(10) | 54 人(53) |

※２級（高校卒業程度）・準２級（高校中級程度）・３級（中学卒業程度）・４級（中学中級程度）
５級（中学初級程度）

・生徒は積極的に英検を受験し、語学力の向上に向けて努めた。
・級が上がる毎に受験の費用負担が大きくなるため、令和７年度からは受験料の半額程度を補助することとした。

| 事業名 | 中学生語学研修事業 | 担当課・係 | 教育課学校教育係 |
|---|---|---|---|
| | | 評　価 | A |
| 主な事業費<br>(決算額) | 中学生語学研修委託料：1,173,390 円（自己負担額：11,000 円／人） | | |
| 事業内容 | 英語でのコミュニケーション力や海外文化を学ぶことを目的に、１泊２日の行程で国内研修施設においてオールイングリッシュによる体験型英語学習を実施する。 | | |
| 現状と課題 | ・８月 22 日(木)、23 日(金)の２日間、東京都江東区青海にある「TOKYO GLOBAL GATEWAY Blue Ocean」においてオールイングリッシュによる国内語学研修を実施した。<br>・研修には３年生 32 名が参加し、「英語力の発揮や向上」、「苦手意識の克服」等、それぞれに目的意識を持ちながら研修に挑み、シチュエーションに応じた表現やプレゼンテーションを通して相手に伝える力を養う良い機会となった。 | | |
| 求める成果 | これまで学んできた知識を実践する機会により「生きた英語」を学び、英語学習の意欲向上を図る。 | | |

●施策２　道徳性を高める心の教育の推進

| 事業名 | 生徒指導 | 担当課・係 | 教育課学校教育係 |
|---|---|---|---|
| | | 評　価 | A |
| 事業内容 | 児童生徒等の健全育成のためにしっかりと生徒指導に取り組むとともに、教育委員会と各小中学校において定期的な情報交換等を行う。 | | |
| 現状と課題 | ◆各小中学校<br>・小学校では月１回、中学校では週１回の生徒指導委員会や校内教育支援会議を実施し、校内での共通理解を図った。会議終了後には報告書を作成し、必ず教育委員会に提出するなど情報共有の強化に努めた。<br>・特に喫緊の課題に対しては関係機関と連携を図り、ケース会議を開催するなど早急な問題解決に努めた。<br>・道徳の授業や心のバリアフリー、福祉教育等において、児童生徒の道徳性を高める事業展開を実施した。<br>◆教育委員会<br>・各小中学校から提出された報告書を取りまとめ、毎月開催される校長会会議で情報交換を行い、効果的な対応方法について内容の共有や指導・支援を行った。<br>・生徒指導上困難な事案や、教職員と関わる事案については、教育委員会が学校と保護者の間に入り事案の解決を図った。 | | |
| 求める成果 | 教育委員会と各小中学校において、「細部にわたる情報共有」と「組織的な関わり」に重点を置き、誰一人取り残すことのない教育を図る。 | | |

| 事業名 | 心のバリアフリー教育 | 担当課・係 | 教育課学校教育係 |
|---|---|---|---|
| | | 評　価 | B |
| 事業内容 | 様々な心身の特性や考え方を理解するための様々な体験を実施する。 | | |

| | |
|---|---|
| 現状と課題 | ◆東浪見小学校<br>・千葉県教育委員会バリアフリー演劇プロジェクトの一環として、劇団「風」の協力により、特別支援学級在籍児童と特別支援学校の児童生徒が、バリアフリー演劇「星の王子様」の鑑賞と劇に参加した。自分らしく表現する楽しさ、みんなでひとつのものをつくる面白さを発見した。<br>◆一宮小学校<br>・クラブ活動においてボッチャを体験するなど、児童の関心を高める活動を実施した。<br>◆一宮中学校<br>・道徳の学習において、障がいを抱えた方たちとの共生について学んだ。 |
| 求める成果 | 様々な体験を通じて、相互に支え合い、認め合う心を育み、共生社会の形成への理解を促進する。 |

| | | | |
|---|---|---|---|
| 事業名 | 福祉教育 | 担当課・係 | 教育課学校教育係 |
| | | 評　価 | B |
| 事業内容 | 他者の生活課題を「他人事」とするのではなく、「自分事」として身近な福祉課題として意識するために、福祉体験や長生特別支援学校と交流活動を実施する。 | | |
| 現状と課題 | ◆各小学校<br>・４年生を対象に町地域包括支援センターによる、アイマスクや車いすを使用しての障害者体験や高齢者疑似体験活動を実施した。<br>◆東浪見小学校<br>・令和６年度に引き続き、長生特別支援学校（以下「長生特支」という。）と対面での交流活動を実施した。「なかよし集会」では、東浪見小学校の児童が長生特支を訪問し、交流活動を行った。「なかよしタイム」では東浪見小学校に長生特支の児童を迎え、様々なゲームを行った。<br>・６年生を対象に認知症サポーター養成講座を受講し、認知症に対して正しく理解し、認知症の方とのコミュニケーションの仕方を学んだ。<br>◆一宮小学校<br>・長生特支の児童と居住地交流（年２回）では、特別支援学級の児童と自立活動や国語の学習、業間や休みに一緒に遊ぶなど他者のことを考えて行動する良い機会となった。<br>◆一宮中学校<br>・独居の高齢者へのプレゼントづくりと訪問学習を実施し、福祉に対する豊かな心の育成につなげた。<br>・長生特支の文化祭補助役員の就任や演劇鑑賞会に一緒に出演するなど、福祉教育を実践した。 | | |
| 求める成果 | 様々な交流を通じて、相互に支え合い、認め合う心を育み、共生社会の形成への理解を深める。 | | |

●施策３　生涯をたくましく生きるための健康・体力づくりの推進

| | | | |
|---|---|---|---|
| 事業名 | 保健管理 | 担当課・係 | 教育課学校教育係 |
| | | 評　価 | A |
| 事業内容 | 児童生徒等の健全育成のため定期的な情報交換を実施する。児童生徒の健康診断や検査結果による速やかな医療機関への受診勧告や感染症対策を徹底する。 | | |
| 現状と課題 | ◆各小中学校<br>・学校保健安全法に定められた各種検診を全児童生徒に実施し、健診結果により、要治療者に対し速やかに受診勧告を行い、早期治療につなげた。<br>・小学４年生、中学１年生に実施する小児生活習慣病予防検診では、危険因子を早期に把握し、将来の生活習慣病を予防するための健康教育を行った。<br>・感染症対策として、改めて手洗い・うがいや換気の大切さを児童生徒に伝えた。また、嘔吐物の処理セットを各教室に設置し、マニュアルによる速やかな対処に努めた。<br>・アナフィラキシーに対する知識と対応について校内研修を実施し、エピペンの使用方法について共通理解を図った。<br>・熱中症対策として、千葉県が策定した「学校における熱中症対策ガイドライン」等に則った指導を児童生徒に行った。また、教職員には熱中症発生時における対処方法について共通理解を図った。 | | |
| 求める成果 | 児童生徒及び教職員の精神的・身体的健康の保持増進を図るとともに、健全な学校生活を過ごすための知識を身につける教育活動の推進を図る。 | | |

| | | | |
|---|---|---|---|
| 事業名 | 保健教育 | 担当課・係 | 教育課学校教育係 |
| | | 評　価 | A |
| 主な事業費<br>(決算額) | ●東浪見小学校　思春期教室講師謝礼：31,410 円<br>●一宮小学校　　思春期教室講師謝礼：31,590 円<br>●一宮中学校　　思春期教室講師謝礼：32,360 円 | | |
| 事業内容 | 思春期教室や薬物乱用防止教室、救急救命講習を実施する。 | | |
| 現状と課題 | ◆各小学校<br>・５・６年生を対象に２月 12 日(水)に思春期教室を実施した。助産師を講師に招き、命の誕生や思春期の心と体の成長について学んだ。<br>・東浪見小学校は１月 23 日(木)に、一宮小学校は 12 月３日（火）に外房地区少年センター（千葉県警）の講師による薬物乱用防止教室を実施し、薬物の恐ろしさについて学んだ。<br>◆一宮中学校<br>・２年生を対象に「救命救急実技講習」を実施した。保健体育科の授業においても心肺蘇生法（ＣＰＲ）やＡＥＤの使用方法を学び、生徒は胸骨圧迫の手法を体得した。<br>・２年生を対象に 11 月 21 日（木）に「思春期健康教室」を実施した。助産師を講師に招き、性や思春期、性交・避妊方法、性についての心配事の相談先等について学 | | |

| | |
|---|---|
| | んだ。<br>・思春期の心と体、特に心の変化やストレス、命の大切さについて、学年間の連携を図り、系統性のある指導（１年：３時間　２年：３時間　３年：２時間）を実施した。 |
| 求める成果 | 事故やケガに迅速に対応する力を養い、命の尊さを意識づけるとともに、命の大切さ・相手への心遣い・マナー等についてより深い理解につなげる。 |

| 事業名 | 学校給食 | 担当課・係 | 教育課学校教育係 |
|---|---|---|---|
| | | 評　価 | B |
| 主な事業費（決算額） | ●東浪見小学校　給食事業費：4,750,376 円<br>●一宮小学校　　給食事業費：22,844,982 円<br>●一宮中学校　　給食事業費：17,736,297 円 | | |
| 事業内容 | 栄養バランスのとれた学校給食を提供する。 | | |
| 現状と課題 | ◆各小中学校<br>・成長期にある児童生徒に栄養バランスのとれた給食を提供した。<br>・行事食や町統一献立を提供するとともに、地場産物を積極的に取り入れた。<br>・教職員は食物アレルギーのある児童生徒を確認するとともに、アナフィラキシー症状発生時の対応マニュアルの確認やエピペンの使用方法についての職員研修を実施した。<br>・児童生徒に除去食を渡す際には食札を付け、学級担任又は当該児童生徒に栄養士が直接手渡すなど、児童が誤ってアレルゲンの食物を食することがないよう工夫した。<br>◆教育委員会<br>・一宮中学校に調理員（会計年度任用職員）１名を増置し、安定的な給食の提供に努めた。<br>・給食室の工事・修繕や備品を購入するなど環境整備に努めた。<br>・地方創生臨時交付金を活用し、１食当たり 70 円を支援する給食食材物価高騰対策を実施し、学校給食の質や量の維持を図った。 | | |
| 求める成果 | 安心・安全で栄養バランスのとれた学校給食の提供を図る。 | | |

| 事業名 | 食育 | 担当課・係 | 教育課学校教育係 |
|---|---|---|---|
| | | 評　価 | A |
| 事業内容 | 学校給食を「生きた教材」として、食の大切さや健康、食事マナーを学ぶために、給食だよりの発行や他の授業と連携したイベント等を実施。 | | |
| 現状と課題 | ◆各小中学校<br>・給食だよりを発行した。<br>・行事食や町統一献立、また積極的に地場産物の給食を提供する際に校内放送を活用し、児童生徒が食に関する興味・関心を持てるよう働きかけた。 | | |

| | |
|---|---|
| | ◆東浪見小学校<br>・１、５年生を対象にコープみらい「食育出前講座」を実施した。児童は成長期の睡眠や食事の大切さ、自分で献立を作成し、何をどの位食べたら良いかについて学んだ。<br>・３年生を対象に「おなか元気教室（ヤクルト）」を実施した。児童は腸内細菌と健康との関わりから腸の重要性や排便の大切さ、生活リズムについて学んだ。社会科「農業の仕事」の単元では、梨農家と苺農家を訪問し、栽培の様子や工夫、苦労を学んだ。<br>・２、６年生を対象に日本乳業協会「わくわくミルク教室」を実施した。牛乳離れの予防を含め、牛乳が身体の成長に役立つことを学んだ。<br>・４年生を対象に「しょうゆのもの知り博士」の出前授業を行い、日本の文化を支えてきた醤油について学んだ。<br>・児童に好評な（地産地消）メニューのレシピを紹介し、食育指導を充実させた。<br>◆一宮小学校<br>・校内６か所の食育コーナーにおいて、毎日の給食に関する豆知識「ひとくちメモ」や「行事食や千葉県産食材の説明」、「朝ごはんの大切さ」、「夏の水分の取り方」「食に関するクイズ」等を各学年の発達段階に沿った内容を掲示した。<br>・６年生を対象に栄養のバランスを考えた食事として、主食・主菜・副菜を組み合わせた献立を作成する授業を行った。献立を組み合わせる際は、タブレットを使用して、実際に給食で提供されている料理の写真を活用することにより、児童の興味・関心を高めることができた。<br>・４年生を対象に生活習慣病予防検診の事後指導として、栄養教諭、養護教諭、学年担任と連携して「食事と睡眠の大切さ」について授業を実施した。<br>◆一宮中学校<br>・家庭科学習において、地産地消の仕組みや食材の選択や管理の仕方について栄養士と連携し、授業を実施した。<br>・１年生の家庭科学習では、自分たちで給食の献立を発案し、発表会を行った。模範となった献立案を実際の給食献立に組み入れることで、食文化に対する意欲向上につなげるとともに、千葉県学校給食だよりにも取り組みが掲載された。<br>・２年生を対象に職業講話の学習において、「銚子丸」の社員から実際の商品（寿司）づくりの体験学習を実施し、生徒の実践力向上につなげた。 |
| 求める成果 | 「食」に関する知識と選択する力を習得し、健全な食生活の実践を図る。 |

●施策４　共生社会の形成に向けた特別支援教育の推進

| 事業名 | 特別支援教育 | 担当課・係 | 教育課学校教育係 |
|---|---|---|---|
| | | 評　価 | A |
| 主な事業費<br>（決算額） | 学校支援事業費（図書支援員含む）：16,164,983円 | | |

| | |
|---|---|
| 事業内容 | 各小中学校に特別支援教育支援員等を配置するとともに、教育支援委員会において就学前児童や在籍児童生徒の情報共有を図り支援体制を構築する。 |
| 現状と課題 | ◆支援員の配置<br>・特別支援教育支援員（以下「支援員」という。）を各小中学校に配置し、児童生徒の日常生活上の介助や学習支援等を行った。<br>【令和６年度支援員の配置状況】<br>東浪見小学校１名／一宮小学校３名／一宮中学校２名<br>・一宮小学校では、２学期から特別支援教育支援員を１名増置し、支援体制の強化を図った。<br>・各小中学校は支援員の増員を要望しており、他市町村と比較しても生徒児童数に対する配置数が低い状況であるため、支援員の増員（確保）が課題であり、令和７年度は各校１名の増置を予定している。<br>◆体制の推進<br>・一宮小学校では令和３年度より、毎週水曜日に大網白里特別支援学校のサテライト教室として「きこえの教室」を開催し、一宮小学校及び一宮中学校の難聴児童２名が指導を受けた。<br>◆連携強化<br>・幼児教育と小学校教育の滑らかな接続を目指すため、教育委員会及び各小学校、幼児施設のより強い連携の構築（架け橋プログラム）に必要な内容について、各小学校や町内保育所（園）、こども園、子育て支援課と協議を進めた。<br>◆教育支援委員会<br>・教育委員会と各小中学校、長生特別支援学校、町内保育所（園）、こども園、一宮学園、東上総教育事務所、学校医、福祉健康課、子育て支援課で組織する一宮町教育支援委員会の定例会を３回、臨時会を１回開催した。教育委員会や各小中学校等から提出された案件に対し、本人への関り方や適正な就学支援について審議・協議をした。 |
| 求める成果 | 一人一人の教育的ニーズを把握し、特別な配慮の下に適切な教育を図る。 |

## 【基本目標２　学校の目指す姿】

### ●施策５　人間形成の場としての活力ある学校づくり

| 事業名 | 学校施設整備 | 担当課・係 | 教育課学校教育係 |
|---|---|---|---|
| | | 評　価 | B |
| 主な事業費<br>（決算額） | ●東浪見小学校<br>修繕料総額：2,364,393 円　工事請負費総額：5,107,795 円<br>備品購入費総額：2,392,035 円<br>●一宮小学校<br>修繕料総額：3,031,426 円　工事請負費総額：815,614 円<br>備品購入費総額：5,355,319 円 | | |

| | |
|---|---|
| | ●一宮中学校<br>　修繕料総額：3,651,566 円　工事請負費総額：4,834,712 円<br>　備品購入費総額：4,910,014 円 |
| 事業内容 | 児童生徒の快適な学校生活のために、緊急性を勘案した上で各小中学校の工事や修繕、備品購入等の環境整備を実施する。 |
| 現状と課題 | ◆東浪見小学校<br>・工　事：倉庫設置工事（西側倉庫撤去及び新設）／校舎窓サッシ改修工事<br>・修　繕：屋上防水修繕／東側入口門扉取替修繕／職員用女子トイレ修繕<br>　　　　　防火設備修繕（1階防火扉フロアヒンジ交換修繕）<br>　　　　　ガス回転釜内釜修繕　他 20 件<br>・備　品：図書室用会議いす／深皿／デジタル体重計／掛図等教材備品／図書<br>　　　　　タブレット端末／電子黒板　他<br>・その他：東浪見小学校の普通教室棟は築 53 年となり、前回の大規模改修から 15 年が経過し、校舎内のいたる所で雨漏りが発生しているため、令和８年度の大規模改修にむけた校舎耐力度調査を実施。（繰越事業）<br>◆一宮小学校<br>・工　事：相談室空調機設置工事／高圧受変電設備改修工事（繰越事業）<br>　　　　　調理員休憩室空調機更新工事<br>・修　繕：FF 暖房機修繕／防火設備修繕（消火栓用貯水タンク等）<br>　　　　　北校舎昇降機修繕／給食室トップライト修繕<br>　　　　　タブレット端末（８台）修繕　他 19 件<br>・備　品：６年生教室カーテン／ガス回転釜／冷凍庫／掛図等教材備品／図書<br>　　　　　タブレット端末／プロジェクター／電動糸のこ　他<br>・その他：漏電箇所の特定のため電気設備調査を実施<br>◆一宮中学校<br>・工　事：非常用放送設備更新工事／防犯灯撤去工事／給食室給湯管設置工事<br>・修　繕：キュービクル扉修繕　／第１理科室等照明修繕<br>　　　　　消防設備修繕（火災報知器・放送スピーカー等）<br>　　　　　ガス回転釜断熱修繕／給食室教室棟間通路鉄柱修繕<br>　　　　　タブレット端末（８台）修繕　他 23 件<br>・備　品：生徒用机・イス／美術室用机／冷蔵庫／ガス立体炊飯器／視力検査器<br>　　　　　図書／部活動備品／タブレット端末／電子黒板／充電保管庫　他<br>◆教育委員会<br>・校舎や備品等の老朽化により、細かな修繕も含め年々対応件数が増えている。<br>　校舎や給食施設の大規模改修又は建て替え等については喫緊の課題であり、早急に検討を進めていく必要がある。<br>・大規模改修や工事を実施していく上での教育委員会の体制作りも検討が必要である。 |

| | |
|---|---|
| 求める成果 | 児童生徒の学校生活に影響を及ぼすことがないよう、学校施設等の整備を効率的に行い、適切な施設管理の維持を図る。 |

| | | | |
|---|---|---|---|
| 事業名 | 水泳学習環境整備 | 担当課・係 | 教育課学校教育係 |
| | | 評　価 | B |
| 主な事業費<br>（決算額） | ●東浪見小学校<br>プール水泳指導委託料：1,375,000 円　バス借上料：642,400 円<br>●一宮小学校<br>プール水泳指導委託料：3,597,000 円　バス借上料：1,366,200 円<br>●一宮中学校<br>プール循環装置保守点検委託料：21,780 円 | | |
| 事業内容 | 快適で安心・安全な水泳学習の実施のため、水泳学習の外部委託や使用プールの整備を行う。 | | |
| 現状と課題 | ◆各小学校<br>・令和２年度から小学校における水泳学習を外部委託し、水泳学習を実施した。教職員と水泳指導員の連携により、児童一人一人に応じたきめ細かな技術指導がなされ、児童も意欲的に取り組んだ。<br>・働き方改革に基づく教職員の負担軽減につながっているが、「指導と評価の一体化」の面からも教職員と委託先の指導面での連携を密にする必要がある。<br>・希望者を対象に夏季休業期間中に着衣水泳及びサーフィン体験会を実施し、約 100 名の児童が参加した。水難事故への対応として身の守り方やサーフィンを学んだ。<br>◆一宮中学校<br>・GSS センターのプールを使用することから、安心・安全のためにプール循環装置の点検や水質検査を行った上で水泳学習を実施した。<br>◆教育委員会<br>・GSS センターのプール施設の老朽化により、令和７年度から町内の民間施設を借り上げ、中学１年生のみ水泳授業を実施することとした。 | | |
| 求める成果 | 児童生徒は水泳で求められる身体能力や水中での安全に関する知識を身につけ、水の事故を未然に防ぐ思考力を育むために安心・安全な水泳学習の実施を図る。 | | |

| | | | |
|---|---|---|---|
| 事業名 | 交通安全指導 | 担当課・係 | 教育課学校教育係 |
| | | 評　価 | A |
| 事業内容 | 茂原警察署や交通安全協会と連携し、各小中学校において交通安全教室を開催するとともに、学校支援ボランティア等による見守りを実施する。 | | |
| 現状と課題 | ◆東浪見小学校<br>・低学年は基本的な交通ルールの説明や道路の横断の仕方、信号機の見方を、中高学年は自転車乗車時の交通ルールや標識の説明、自転車の正しい乗り方について学んだ。 | | |

| | |
|---|---|
| | ◆一宮小学校<br>・１、３、５年生を対象に交通安全教室を実施し、基本的な交通ルールや横断の仕方を学んだ。<br>・４年生は総合的な学習の時間に「地域安全マップを作ろう」という課題のもと、まちたんけんを通して学区内の危険箇所について調べ学習をした。<br>自分の身を守るために、身近な通学路を見直し、不審者が「入りやすく」て「見えにくい」場所を探して地域安全マップにまとめた。<br>◆一宮中学校<br>・１年生を対象に自動車運転手の視点（死角）や自転車の乗り方と点検整備の仕方、交通ルール（道路交通法）遵守の必要性を学び、「自転車でも加害者になる」ことについて理解を深めた。<br>◆教育委員会<br>・学校支援ボランティアによる児童生徒の交通安全支援活動やＰＴＡの地区役員や歴代役員と教職員が連携し、定期的な交通安全指導を実施した。<br>・「七歳児合同祝」の式典は実施しなかったが、対象者に千歳飴と町交通安全協会による交通安全グッズの記念品を贈呈し、交通安全の啓発を図った。<br>・一宮町社会を明るくする運動推進委員会の活動として定期的に青色防犯パトロール車（青色回転灯装備車）による巡回を実施した。<br>・町部局と連携し、町が宣言した「Slow for Kids」の看板設置や防災無線を活用して、保護者や地域住民に周知した。<br>※Slow for Kids 宣言<br>子どもたちの安全・安心を守るため、子どもの近くを車で走る際、できるだけゆっくりとした速度（目安 20 キロ以下）で通過する一宮町のローカルルールをドライバーに呼びかけるもの。 |
| 求める成果 | 交通安全に対する知識・理解を深め、児童生徒の交通事故の防止を図る。 |

| 事業名 | 通学路の安全対策 | 担当課・係 | 教育課学校教育係 |
|---|---|---|---|
| | | 評　価 | Ｂ |
| 事業内容 | 一宮町通学路安全推進委員会議を開催し、委員による通学路の点検を実施する。令和３年６月に千葉県八街市で発生した交通事故の教訓からより重点的に取り組む。 | | |
| 現状と課題 | ・８月７日（水）、教育委員会及び茂原警察署、町交通安全対策協議会、長生土木事務所、町総務課、町都市環境課、各小学校安全担当主任、各小学校　ＰＴＡ代表者で構成する一宮町通学路安全推進委員会議を開催し、重点課題を設定した上で通学路合同点検を実施した。<br>・各小学校等から指摘された東浪見地区６箇所、一宮地区２箇所の危険箇所を重点的に点検した。<br>・教育委員会から現場踏査の結果（要望事項）を関係機関に通知し、「通学路注意」看板の設置や側溝のがたつきや穴の補修、新たなカーブミラーの設置等の安全対 | | |

| | |
|---|---|
| | 策を講じた。 |
| 求める成果 | 通学路における交通安全を一層確実に確保し、児童の安全確保に万全を期す。 |

| 事業名 | 防犯対策 | 担当課・係 | 教育課学校教育係 |
|---|---|---|---|
| | | 評　価 | B |
| 事業内容 | 児童生徒の安全な下校のため、地域住民による見守りや防犯パトロールを実施する。 | | |
| 現状と課題 | ◆各小学校<br>・交通安全や防犯対策のため集団下校を実施した。<br>◆一宮中学校<br>・下校時の見回り活動を行った。<br>◆教育委員会<br>・青色防犯パトロール車（青色回転灯装備車）でパトロールを実施した。不審者情報が寄せられた場合には、パトロールの回数を増やすなど見回りを強化した。<br>・地域住民や団体、ＰＴＡ等に防犯パトロール時に着用する「反射ベスト」や車に貼る「マグネット」を配付した。<br>・各小中学校と警察連絡協議会が連携し、長期休業中の地域の見守り活動を実施した。ケースによっては児童相談所等の関係機関で成育歴や家庭環境、生活態度等の問題についてその原因や対策を話し合う会議を開催する。 | | |
| 求める成果 | 児童生徒の下校時や長期休業中の安全の確保及び非行防止を図る。 | | |

●施策６　教育現場の重視と教員の質・教育力の向上

| 事業名 | 教職員の働き方改革 | 担当課・係 | 教育課学校教育係 |
|---|---|---|---|
| | | 評　価 | B |
| 主な事業費<br>（決算額） | ●３校共通　校務支援システム導入委託料総額：14,960,000 円 | | |
| 事業内容 | 教職員が心身ともに健康を保つことが出来る環境を整え、児童生徒の成長に必要な教育活動を図るため、ハード・ソフト両面から教職員の業務負担の軽減を実施する。 | | |
| 現状と課題 | ・従来から実施しているＩＣカード等による出退勤記録や長期休業中の学校閉庁日（５日）、留守番電話の設置、ノー残業デー・ノー部活デーの設定に加え、教職員の負担軽減につながる校務支援システムを導入した。<br>・教員の在校等時間の上限方針を策定し、教員が勤務時間外に在校する時間を原則として月 45 時間以下、年間 360 時間以下とする方針を定め、教職員の長時間勤務の解消に取り組んだ。しかしながら、超過勤務状況は、小中学校ともに、月 45 時間・年間 360 時間を超えている状況である。<br>【令和６年度月平均超過勤務状況】<br>東浪見小学校　46 時間 3 分　　一宮小学校　45 時間 27 分<br>一宮中学校　50 時間 7 分 | | |

| | |
|---|---|
| | ・町非常勤講師（小学校：算数　中学校：英語）３名及び特別支援教育支援員６名を各小中学校に配置するとともに、県教育委員会派遣によるスクール・サポート・スタッフも３校全てに配置した。 |
| 求める成果 | 教職員自ら勤務時間を把握し自覚することで業務の見直しと改善を図るとともに、支援員等の配置による教職員の業務負担の軽減を図る。 |

| 事業名 | 教職員の指導力向上 | 担当課・係 | 教育課学校教育係 |
|---|---|---|---|
| | | 評　価 | B |
| 主な事業費（決算額） | 教職員研修事業費：279,680 円 | | |
| 事業内容 | 教職員の資質・能力の向上を目的に一宮町小・中学校教職員研究協議会における校内研修や指導主事要請訪問等を実施する。また、教師一人一人が「主体的・対話的で深い学び」を意識しながら児童生徒の発達段階や実態に応じた学習指導を展開する。 | | |
| 現状と課題 | ・東上総教育事務所の管理主事を講師に不祥事根絶対策研修会を実施した。<br>・たまあ〜と創作工房こまちだたまお氏を講師に「わたしはわたし〜表現をすることありのままをうけとめること」についての講演会を開催した。<br>・各小中学校での校内授業研究や、町内異校種学校間での相互授業参観を実施した。<br>・東上総教育事務所指導主事要請訪問を東浪見小学校は 11 回、一宮小学校は３回、一宮中学校は各教科で合計９回実施し、指導力向上に努めた。 | | |
| 求める成果 | 教職員の資質・能力を高めることで児童生徒の学力や学習意欲の向上を図る。また、各種研修等により教職員の不祥事防止に対する意識向上を図る。 | | |

| 事業名 | ＡＬＴ配置事業 | 担当課・係 | 教育課学校教育係 |
|---|---|---|---|
| | | 評　価 | B |
| 主な事業費（決算額） | 国際化教育推進事業費（中学生語学研修委託料除く）：9,986,555 円 | | |
| 事業内容 | 児童生徒の外国語や海外文化への興味や関心を高めるために、各小中学校にＡＬＴを配置する。 | | |
| 現状と課題 | ・東浪見小学校と一宮小学校で１名、一宮中学校１名の合計２名のＡＬＴ（外国語指導助手）を配置した。<br>・担任とＡＬＴが連携しながら、児童生徒が外国語や海外文化を身近に感じられるような授業を展開した。 | | |
| 求める成果 | 各小中学校にＡＬＴを配置し、外国語活動や英語学習の理解と習得を図る。 | | |

| 事業名 | 部活動の地域移行 | 担当課・係 | 教育課学校教育係 |
|---|---|---|---|
| | | 評　価 | B |
| 事業内容 | 教職員の働き方改革の一環として、小学校は部活動の見直し、中学校は国・県の方針に基づき、休日の部活動を段階的に地域クラブ活動へ移行するための取り組みを実 | | |

| | |
|---|---|
| | 施する。 |
| 現状と課題 | ◆東浪見小学校<br>・４月から６月までの陸上部の活動のみ行った。<br>◆一宮小学校<br>・長生郡市内の各種大会が廃止・規模縮小となる中、部活動の見直しを行い、４月から６月までの陸上部の活動のみとした。<br>・児童や保護者のニーズに応えるため、昨年度まで実施していた放課後教室「学びま専科」に替えて、放課後校庭開放（週２回）を実施した。<br>◆一宮中学校<br>・休日や平日の夕方などに、保護者や地域住民等が主体となり、場所を確保して活動する場面が増えた。<br>・学校支援ボランティアとして、複数の部活動に外部指導員を配置した。<br>◆教育委員会<br>・改革推進期間２年目となる令和６年度は、一宮町部活動地域移行推進協議会を設置し、部活動地域移行の現状と課題を共有し、当面の方向性について協議を行った。<br>・従来の一宮町立中学校部活動ガイドラインを改訂した「一宮町立中学校部活動及び地域クラブ活動の在り方に関するガイドライン」を制定するとともに、地域クラブ活動団体の認定に向けた準備を行った。 |
| 求める成果 | 児童生徒、保護者、教職員の部活動に対する意識や地域移行への考え等について現状を把握・分析し、よりニーズにあった地域のスポーツ文化活動の実施環境の形成を図る。 |

●施策７　多様なニーズに対応した教育の推進

| 事業名 | スクールカウンセラーの配置 | 担当課・係 | 教育課学校教育係 |
|---|---|---|---|
| | | 評　価 | A |
| 事業内容 | 県教育委員会から派遣され、各小中学校に配置されるスクールカウンセラーを活用し、いじめや不登校等の未然防止・早期発見・早期対応することで、学校全体を支援する。 | | |
| 現状と課題 | ・スクールカウンセラーは、これまで月１回配置だった東浪見小学校が、一宮小学校と同じく月２回配置となり、両小学校とも年間 105 時間にわたり相談が行われた。<br>・一宮中学校は、例年同様に週１回配置、210 時間の相談が行われ、全生徒と最低１回の面談を行うなど、気軽に面談できる体制を構築した。<br>・相談内容の多くは、不登校や友人関係であるが、学業や進路に加えて心身の健康、家族についての相談もあった。なお、児童生徒だけでなく保護者や教職員の相談にも対応しており、相談希望が多いことから派遣日数の増加を要望している。<br>・児童生徒や家族への支援のため、訪問相談員やスクールソーシャルワーカーが相談に対応することもあり、保護者の負担軽減につながった。 | | |
| 求める成果 | 児童生徒の悩みを受け止め、学校におけるカウンセリング機能や教育相談体制の充 | | |

| | |
|---|---|
| | 実を図る。 |

| | | | |
|---|---|---|---|
| 事業名 | 就学援助（奨励）事業 | 担当課・係 | 教育課学校教育係 |
| | | 評　価 | B |
| 主な事業費<br>（決算額） | ●東浪見小学校　扶助費：1,039,346 円<br>●一宮小学校　　扶助費：2,767,063 円<br>●一宮中学校　　扶助費：2,837,205 円 | | |
| 事業内容 | 経済的理由により就学困難と認められる児童生徒や、特別支援学級に在籍する児童生徒の保護者に対し、学用品費や学校給食費などの一部を補助する。 | | |
| 現状と課題 | ◆就学援助事業（就学援助費）<br>・令和６年度は要保護認定者１名、準要保護認定者 64 名の就学援助を行った。<br>（令和５年度：要保護認定者１名、準要保護認定者 56 名）<br>・入学説明会や毎年度の進級時での書類の配付やホームページを活用し、制度を周知した。<br>・就学援助項目のうち「入学準備金」は、入学前に支給するよう努めた。<br>◆就学奨励事業（特別支援教育就学奨励費）<br>・令和６年度は認定者 12 名（令和５年度：認定者 10 名） | | |
| 求める成果 | 学校生活を支援する就学援助等により、児童生徒が安心して教育を受けられるよう支援の充実を図る。 | | |

| | | | |
|---|---|---|---|
| 事業名 | 学校給食費無償化事業 | 担当課・係 | 教育課学校教育係 |
| | | 評　価 | B |
| 主な事業費<br>（決算額） | ●東浪見小学校　学校給食費補助金：890,730 円<br>●一宮小学校　　学校給食費補助金：3,783,556 円<br>●一宮中学校　　学校給食費補助金：1,402,200 円 | | |
| 事業内容 | 保護者が扶養している子の年齢が上から３番目以降の子の義務教育期間における学校給食費の無償化を実施する。 | | |
| 現状と課題 | ・令和６年度の補助対象者は小学生 90 名、中学生 25 名。<br>・第３子以降の児童生徒に対し、小学生は１食当たり 270 円、中学生は１食当たり 300 円を補助した。<br>・完全無償化の実現に向け、制度の拡充や完全無償化について国・県に対し要望した。<br>・町でも完全無償化に向けた検討を重ね、令和７年９月からは第２子も対象とし、制度を拡充予定である。 | | |
| 求める成果 | 子育て世帯に対する経済的な負担軽減を図る。 | | |

| 事業名 | 給食食材物価高騰対策事業 | 担当課・係 | 教育課学校教育係 |
|---|---|---|---|
| | | 評　価 | A |
| 主な事業費（決算額） | 給食食材物価高騰対策負担金：11,340,010円 | | |
| 事業内容 | 地方創生臨時交付金を活用し、給食食材の物価高騰部分に対して支援する。 | | |
| 現状と課題 | ・令和６年度は４～９月までは１食当たり50円、10月以降は１食当たり70円を支援した。（令和５年度：50円）<br>・令和７年度は１食あたり70円の支援を予定している。<br>・今後、さらに食材費の高騰があった場合の対応方法を検討する必要がある。 | | |
| 求める成果 | 子育て世帯に対する経済的な負担軽減を図る。 | | |

【基本目標３　家庭・地域の目指す人】

●施策８　家庭教育への支援と家庭・地域との連携・協働の推進

| 事業名 | 放課後児童健全育成事業（学童保育） | 担当課・係 | 子育て支援課<br>子育て支援係 |
|---|---|---|---|
| | | 評　価 | B |
| 主な事業費（決算額） | 放課後児童健全育成事業費：40,335,768円 | | |
| 事業内容 | 保護者が就労等により昼間家庭にいない小学生に対し、授業終了後の適切な遊びや生活の場を提供する。 | | |
| 現状と課題 | ・一宮学童保育わんぱくクラブ（一宮小学校内）、東浪見学童保育わんぱくクラブ（東浪見小学校内）の２箇所で実施した。<br>・令和６年度末の学童保育登録者数( )内は令和５年度末 | | |
| | 区　分 ／ 一宮学童 ／ 東浪見学童 ／ 計<br>登録者数 ／ 163人(141人) ／ 59人（46人） ／ 222人（187人） | | |
| | ・令和６年７月から民間委託し、課題であった支援員の不足の解消に繋げた。<br>・利用児童が増える長期休業時は、一宮第３教室と東浪見第２教室を開設することで、待機児童をなくすことができた。<br>・今後、更に利用希望が増える場合には増設を検討する。 | | |
| 求める成果 | 放課後の児童の安心安全な場所の提供及び保護者への支援を図る。 | | |

| 区　分 | 一宮学童 | 東浪見学童 | 計 |
|---|---|---|---|
| 登録者数 | 163人(141人) | 59人（46人） | 222人（187人） |

| 事業名 | 家庭教育支援 | 担当課・係 | 教育課学校教育係 |
|---|---|---|---|
| | | 評　価 | A |
| 事業内容 | 学校と保護者が連携しながら家庭教育に関する取り組みを実施する。 | | |
| 現状と課題 | ◆東浪見小学校<br>・家庭学習の充実のため、児童に対し毎日「学年×10分」を目安とした自主学習を促した。 | | |

| | |
|---|---|
| | ◆一宮小学校<br>・保護者の協力を得ながら、平日の家庭の過ごし方について学習面と生活面の実態調査を行った。家庭学習の時間とスマートフォンやゲームの時間等を学校と家庭とで共有し、「学年×10 分」を目標に同一歩調で進めた。<br>・昨年度に引き続き、「一宮小リレーノート」を実施した。４～５人組を１班とし、家庭学習ノートをローテーションとして他者の学習内容や学習方法を学び、家庭学習に活かした。<br>◆一宮中学校<br>・令和７年度入学予定者の保護者に対し、スマートフォン安全利用教室や思春期を迎える生徒への対応について、千葉県教育委員会のリーフレットを　活用して実施した。特に身近になっている携帯電話やスマートフォンの正しい使い方や個人情報の漏洩等の被害の実態、生活習慣が子どもに与える影響を共有し、家庭での対応について説明した。 |
| 求める成果 | 正しい生活習慣を身に付け、家庭学習の充実等につなげるために家庭教育の支援を図る。 |

| 事業名 | 防災教育 | 担当課・係 | 教育課学校教育係 |
|---|---|---|---|
| | | 評　価 | A |
| 事業内容 | 各家庭において災害時の避難経路や避難場所を確認し、防災意識を高めるために、毎年「津波・地震に対する対応について」の配付やアンケートを実施する。 | | |
| 現状と課題 | ◆各小中学校<br>・定期的な防災訓練において、児童生徒が災害における危険を認識し、自らの安全を確保することができるよう訓練を実施した。<br>◆教育委員会<br>・児童生徒の全家庭に「津波・地震に対応について」を配付するとともに、「津波からの緊急避難場所確認アンケート」を実施し、アンケートの集計結果を各小中学校に情報提供した。 | | |
| 求める成果 | 各家庭において避難場所や避難時の問題点を再認識するとともに、防災教育の一層の充実を図る。 | | |

| 事業名 | 環境教育 | 担当課・係 | 教育課社会教育係 |
|---|---|---|---|
| | | 評　価 | B |
| 事業内容 | 環境に関する様々な取り組みを随時紹介するなど環境教育活動に取り組む。 | | |
| 現状と課題 | ・環境教育や自然保護等を目的とした一宮ネイチャークラブは町の山間部の松子地区で無農薬による米作りや動植物の自然観察会、収穫祭等の活動を実施しており、教育委員会ではそのクラブ活動内容やイベント情報を町広報誌やホームページで毎月紹介した。<br>・町では環境保全・維持に努めるため令和６年度に生物文化多様性計画を策定した。 | | |

| | |
|---|---|
| | 歴史や文化の内容に関連して教育委員会も計画策定に携わり、今後の展開に協力していく。 |
| 求める成果 | 幅広い年代が楽しめる環境に関する様々の取り組みを紹介することで、環境教育の推進を図る。 |

| 事業名 | 地域からの学び | 担当課・係 | 教育課学校教育係 |
|---|---|---|---|
| | | 評　価 | A |
| 事業内容 | 地域の環境や人材等を有効に活用した教育活動を実施する。 | | |
| 現状と課題 | ◆東浪見小学校<br>・全児童を対象に毎週火曜日に学校支援ボランティア（13 人）による「読み聞かせ」を実施し、理解力や集中力を養い、読書活動の推進につなげた。<br>・１年生と６年生を対象に「入学おめでとう読み聞かせ」「卒業おめでとう読み聞かせ」を実施した。<br>・長生農業振興事務所や東浪見地区農業士会と連携し、東浪見こども園と合同で学校内の畑でサツマイモを栽培し、学校給食の食材に利用するなど食育の推進につながった。<br>・一宮ネイチャークラブと連携し、松子地区での稲作体験や農家等の見学を実施した。<br>・１、２年生の生活科の学習において、憩いの森や事業所、店舗等を訪ね、自然を体感し、地域の様子を学んだ。<br>・船橋市立一宮少年自然の家主催による一宮通学合宿が 11 月 19 日（火）から 22 日（金）までの３泊４日で開催され、５、６年生の児童５名が参加した。メインとなる「献立決め」「買い物」「調理」は、児童と学生ボランティアスタッフが協力して見事に完成するなど、地域と連携しながら「生きる力」を身に付ける機会となった。<br>◆一宮小学校<br>・１、２年生の生活科の学習において「まちたんけん」を実施し、城山公園や玉前神社を訪ね、自然を体感しながら地域の様子を学んだ。<br>・６年生の総合的な学習の時間における「いちのみやまちづくりプロジェクト 2024」の取り組みの中で、町や一宮小学校の歴史・文化を知るために教育委員会や地域住民、保護者へのインタビューや現地調査を行い、地域から多くのことを学んだ。<br>・船橋市立一宮少年自然の家主催による一宮通学合宿が 12 月 10 日（火）から 13 日（金）までの３泊４日で開催され、５、６年生の児童 27 名が参加した。<br>メインとなる「献立決め」「買い物」「調理」は、児童と学生ボランティアスタッフが協力して見事に完成するなど、地域と連携しながら「生きる力」を身に付ける機会となった。<br>※通学合宿<br>子どもが親元を離れ、集団生活を通して自分たちの力で食事の準備や洗濯、掃除等を行いながら学校に通う活動。 | | |

| | |
|---|---|
| | ◆一宮中学校<br>・福祉面や道徳実践力向上において、地域からの学びを設定し、独居高齢者宅への訪問学習等を実施した。「自分も地域の一員」という自覚を育てる機会となった。<br>・ＰＴＡ活動の再生資源回収の手伝いを通して、学校に対する地域の温かい心に触れる機会を設けた。 |
| 求める成果 | 地域のとの関りを深め、より一層の教育活動の充実を図る。 |

| 事業名 | 学校運営協議会 | 担当課・係 | 教育課学校教育係 |
|---|---|---|---|
| | | 評　価 | B |
| 主な事業費<br>（決算額） | ●東浪見小学校　学校運営協議会委員報酬：42,000 円<br>●一宮小学校　　学校運営協議会委員報酬：24,500 円<br>●一宮中学校　　学校運営協議会委員報酬：56,000 円 | | |
| 事業内容 | 学校運営協議会による学校基本方針の承認のほか、学校運営に関わる様々な事項や課題解決に向けた意見及び学校関係者評価を学校運営に反映させ、次年度への改善につなげる。 | | |
| 現状と課題 | ◆東浪見小学校<br>・７名の学校運営協議会委員と年４回の会議を開催した。<br>・会議では、学校基本方針の承認や学校関係者評価を実施した。また、学校側は児童の様子を報告しながら、学校の課題をテーマにした意見交換の時間を設け、解決策について活発な意見交換を行った。<br>◆一宮小学校<br>・６名の学校運営協議会委員と年３回の会議を開催した。<br>・会議では学校経営方針の承認や学校関係者評価を実施、また学校支援ボランティアについて意見交換を行った。<br>・授業参観を通じて、児童の様子や学校施設を委員に見ていただくとともに、今年度の学校支援ボランティアの活用について報告した。<br>◆一宮中学校<br>・９名の学校運営協議会委員と年４回の会議を開催した。<br>・会議では学校経営方針の承認や学校関係者評価を実施するとともに、授業見学を通して意見交換を行った。<br>・グラウンドの整備について意見交換を行ったことで、教育委員会や町部局の協力を得て迅速に対応することができた。<br>◆教育委員会<br>・学校と委員とが学校運営のビジョンを共有し、各委員は当事者意識を持ちながら学校の魅力や課題を明確化した上で、課題解決に向けた協議会運営が必要である。 | | |
| 求める成果 | 家庭や地域との連携を深め、保護者や地域住民が一定の権限を持って学校運営に参画することで、そのニーズを迅速かつ的確に学校運営に反映させ、より良い教育の実現を図る。 | | |

| 事業名 | 世代間交流 | 担当課・係 | 教育課社会教育係 |
|---|---|---|---|
| | | 評　価 | ― |
| 主な事業費<br>(決算額) | 放送機材借上料：115,500円（直前中止によるキャンセル料） | | |
| 事業内容 | 町事業の運営に際し、中学生によるボランティアを活用することで世代間交流を活性化する。 | | |
| 現状と課題 | ・令和５年度と同様に芸能音楽祭では中学生ボランティアを募集する予定だったが、会場のＧＳＳセンターを衆議院議員選挙で使用するため、急遽、事業が中止となり、令和６年度は実施できなかった。 | | |
| 求める成果 | 地域において世代を超えたつながりや相互理解を深め、豊かな人間性の育成を図る。 | | |

| 事業名 | 青少年健全育成事業 | 担当課・係 | 教育課社会教育係 |
|---|---|---|---|
| | | 評　価 | B |
| 主な事業費<br>(決算額) | 一宮町青少年相談員連絡協議会補助金：400,000円 | | |
| 事業内容 | 青少年相談員が中心となり、親子や友人と触れ合う機会を提供する。 | | |
| 現状と課題 | ・10月６日(日)に自然体験活動として、イベント「アンデルセン公園であそぼう」を開催し、72名の親子が参加した。<br>・11月30日（日）の県青少年相談員連絡協議会長生地区主催「少年の日・地域のつどい大会」では、長生地区の子どもたちがデイキャンプを行い、ウォークラリーやモルック、カレー作りを体験した。一宮町からは３名が参加して親睦、友情を深める機会となった。 | | |
| 求める成果 | 様々なイベントを通して、親子の絆を深め、友人とのふれあいや地域住民の交流の場の提供を図る。 | | |

| 事業名 | 子ども会育成会 | 担当課・係 | 教育課社会教育係 |
|---|---|---|---|
| | | 評　価 | B |
| 主な事業費<br>(決算額) | 一宮町子ども会育成会補助金：450,000円<br>東浪見子ども会育成会補助金：110,000円 | | |
| 事業内容 | 子ども会育成会の活動により、子どもたちの健やかな成長のための体験の場を提供する。 | | |
| 現状と課題 | ・船橋市立一宮少年自然の家でのファミリーキャンプやハロウィンパレード、クリスマス会を開催した。<br>・令和５、６年度は町が千葉県子ども会連合会長生支部の事務局を担当した。<br>・８月17日（土）に新浜海岸で地曳網体験の交歓交流会を開催する予定であったが、８月８日（木）に日向灘付近を震源とする地震発生により、気象庁から南海トラフ | | |

| | |
|---|---|
| | 地震臨時情報（巨大地震注意）が発令され、中止となった。 |
| 求める成果 | 文化活動や様々な体験の場を作ることで子どもたちの健やかな成長の促進を図る。 |

| 事業名 | ジュニアリーダーの育成 | 担当課・係 | 教育課社会教育係 |
|---|---|---|---|
| | | 評　価 | B |
| 事業内容 | 子ども会活動の活性化のため、ジュニアリーダーとして高校生や中学生を育成する。 | | |
| 現状と課題 | ・12 月 7 日(土)、8 日(日)に長柄町の千葉市少年自然の家でジュニアリーダー初級認定講習会（事業費は千葉県子ども会連合会長生支部が負担）を開催し、一宮町と近隣町村の小学生 43 名が参加した。<br>・参加者はボッチャや房総かるた、バルーンアート、野外炊飯等の様々な体験を通して、子ども会活動を担うリーダーとしての役割を学んだ。 | | |
| 求める成果 | 社会性・協調性・自主性を養い、ジュニアリーダーの役割や心得を学び、子ども会活動の推進を図る。 | | |

●施策９　人生 100 年時代を見据えた生涯学習の推進

| 事業名 | 中央公民館の運営 | 担当課・係 | 教育課社会教育係 |
|---|---|---|---|
| | | 評　価 | B |
| 主な事業費（決算額） | 中央公民館建設検討委員報償費：273,000 円<br>住民ニーズ調査委託料：3,608,000 円　　基本計画策定委託料：458,700 円 | | |
| 事業内容 | 生涯学習の推進のため、老朽化した中央公民館の環境整備を実施する。 | | |
| 現状と課題 | ・築 50 年が経過し、老朽化が進んでいる中央公民館の今後の対応について、各種団体の代表や公募委員 19 名で構成する一宮町中央公民館建設検討委員会で検討を行った。５回の会議の結果、「複合施設として現在の場所に新築、令和９～11 年を目途に工事着手を要望する」という内容で検討結果報告書が教育委員会に提出された。<br>・中央公民館の整備を検討するにあたり、地域住民の意見を取り入れるため、8 月 24 日（土）にタウンミーティングを開催し、合わせて住民ニーズ調査やグループインタビューを実施した。<br>・令和６年度内に「一宮町中央公民館建設基本計画」を策定予定だったが、公民館単体での建設ではなく、複合施設として新たに検討することになったため、計画作成は中止となった。 | | |
| 求める成果 | 老朽化した中央公民館等の改修等を行い、住民の生活文化の振興や社会福祉の増進を図る。 | | |

| 事業名 | まちの図書室の運営 | 担当課・係 | 教育課社会教育係 |
| --- | --- | --- | --- |
| | | 評　価 | B |
| 主な事業費<br>(決算額) | 図書管理システム導入委託料：1,654,400 円<br>システム用レシートプリンター：129,602 円　　図書購入費：600,000 円 | | |
| 事業内容 | 子どもから高齢者や中央公民館、役場利用者も立ち寄れる開かれた環境を作り、図書室の利用促進のために特集コーナーや特別展示等を随時実施する。 | | |
| 現状と課題 | ・図書室の新刊について、毎月の町広報誌で周知した。<br>・季節に合わせた展示や本屋大賞、芥川賞等の受賞作、社会情勢や話題になった出来事に関する本の特集コーナーを年間通して随時設置し、図書室の利用促進を図った。<br>・年間利用者は令和５年度と比較して約 1,000 人、貸出冊数は約 2,000 冊減少したが、新システム導入のため２ヶ月間休館したことによるものである。<br>・令和６年８月まで使用していたシステムは、外部からの蔵書検索や図書の予約に対応していなかったが、年度内に新システムを導入したことにより、スマートフォン等から検索と予約が可能となり、図書室の利用促進に大きく貢献した。 | | |
| 求める成果 | まちの図書室の利用を促し、生涯を通した読書活動の推進を図る。 | | |

| 事業名 | 創作の里の運営 | 担当課・係 | 教育課社会教育係 |
| --- | --- | --- | --- |
| | | 評　価 | B |
| 主な事業費<br>(決算額) | 創作の里管理運営費：1,729,440 円 | | |
| 事業内容 | 創作の場として地域住民に貸し出すとともに、施設管理や環境整備を行う。 | | |
| 現状と課題 | ・陶芸や染色等の創作活動のために多くの人々に利用されており、芸術創作活動を推進した。<br>・フリースペースの多目的室は会議や創作活動、運動等に幅広く活用された。<br>・年間利用者は令和５年度と比較して約 50 人、利用件数は約 200 件増加した。<br>・敷地内の草刈りや清掃等は教育委員会だけでなく、利用者も積極的に協力し、施設環境の改善に努めた。 | | |
| 求める成果 | 住民の利用や施設の活用を推進し、環境整備や利用促進を図る。 | | |

| 事業名 | 公民館活動 | 担当課・係 | 教育課社会教育係 |
| --- | --- | --- | --- |
| | | 評　価 | B |
| 主な事業費<br>(決算額) | 公民館教室運営費：214,000 円 | | |
| 事業内容 | 生涯学習の場を提供するため、中央公民館において各種教室や講座を開講する。 | | |
| 現状と課題 | ・「手話教室」「寄せ植え教室」「崇文館（すうぶんかん）歴史講座」「ペン習字教室」「陶芸教室」及び令和６年度は新たに「アロマテラピー教室」を開催し、６教室合 | | |

| | |
|---|---|
| | 計約70名の受講者の参加があった。<br>・町の歴史を学ぶ「崇文館歴史講座」は４年目を迎え、生涯学習施設として幅広い年代の利用促進を図った。令和７年度以降は、文化財講座等、他の歴史講座と統合する予定。<br>・令和６年度は、令和５年度と同じく33団体のサークルが年間を通して活発に活動した。 |
| 求める成果 | 公民館活動が住民の生きがいの１つとなるよう生涯学習の場を提供し、施設利用の促進を図る。 |

| | | | |
|---|---|---|---|
| 事業名 | 総合文化祭（芸能音楽祭及び文化祭） | 担当課・係 | 教育課社会教育係 |
| | | 評　価 | B |
| 主な事業費<br>(決算額) | 一宮町文化協会補助金：80,000円 | | |
| 事業内容 | 生きがいと文化・交流活動の推進のため、一宮町文化協会と共催事業として総合文化祭を開催する。 | | |
| 現状と課題 | ・芸能音楽祭は会場が衆議院議員選挙の投開票所になったため中止となった。<br>文化祭は23の個人・団体が出展した。<br>・文化祭では昨年に引続き茶道の実演や太極拳、ボッチャ、モルック、小物づくり、水墨画体験を実施した。令和６年度はご遺族の希望もあり、特別に絵画サークルの元指導者で昨年亡くなった畑山義高氏の絵画遺作展をロビーで開催し、来場者からも好評を得た。<br>・文化祭の入場者は650人で、芸術創作活動を通して地域住民の交流が盛んに行われた。<br>・出展団体や参加者は新型コロナウイルス感染症蔓延前に戻りつつあるものの、高齢化等の問題もあり、以前の水準には至っていないことから、今後の開催方法や周知方法が課題である。 | | |
| 求める成果 | 学習成果の発表や参加体験の機会を通じて、生涯学習の推進と文化活動の活性化を図る。 | | |

| | | | |
|---|---|---|---|
| 事業名 | 教育講演会 | 担当課・係 | 教育課社会教育係 |
| | | 評　価 | B |
| 主な事業費<br>(決算額) | 教育講演会講師謝礼：35,000円 | | |
| 事業内容 | 将来を担う子どもの未来を考える機会の提供を目的に、教育講演会を開催する。 | | |
| 現状と課題 | ・３月22日（土)、「波に乗れ！！」と題して、町内出身で2024パリオリンピック・サーフィン競技に出場した稲葉玲王選手やJOCナショナルコーチの田中樹さんと田中英義さんをパネラーに、パネルトーク形式で講演会を開催した。<br>・オリンピック現地での様子や様々な試練を乗り越えて得た教訓等、サーフィンを通 | | |

| | |
|---|---|
| | した人生経験をそれぞれの視点で語り、子どもから高齢者まで66名の参加者に学びのきっかけを提供した。 |
| 求める成果 | 新たな学びや取組のきっかけ作りを提供し、生涯学習の推進を図る。 |

【基本目標４　町民の目指す姿】

●施策10　郷土と国を愛する心と世界を舞台に活躍する能力の育成

| 事業名 | 社会科副読本の活用 | 担当課・係 | 教育課社会教育係 |
|---|---|---|---|
| | | 評　価 | A |
| 事業内容 | 郷土を大切にする児童の育成につなげるために、社会科副読本を児童に配付する。 | | |
| 現状と課題 | 町の歴史文化・自然環境・人々の営み等を学習する際の副読本として、各小学校の３・４年生の児童に「わたしたちの一宮」を配付し、社会科や総合的な学習の時間等で活用した。 | | |
| 求める成果 | 郷土一宮の歴史や地理的環境等の学習において、貴重な資料を活用しながら、郷土を大切にする児童の育成を図る。 | | |

| 事業名 | 20歳の祝典 | 担当課・係 | 教育課社会教育係 |
|---|---|---|---|
| | | 評　価 | A |
| 主な事業費（決算額） | 20歳の式典開催事業費：226,125円 | | |
| 事業内容 | 20歳の有志による実行委員会と教育委員会の協働により、20歳の祝典を開催する。 | | |
| 現状と課題 | ・令和４年の民法改正に伴い、成年年齢が18歳に引き下げられたが、町では20歳を対象として実施している。<br>・対象となる20歳の有志が実行委員会を立ち上げ、記念品の選定や運営、会場装飾等を企画し、20歳の祝典を開催した。<br>・１月12日(日)に開催された式典には86名が参加し、従前の状態で開催することができた。 | | |
| 求める成果 | 生まれ育った地域で式典を開催し、故郷の特色等の再認識を図る。<br>20歳を迎えた人々が中心となって式典を運営することで、大人社会の一員としての自覚や自立を促す機会の提供を図る。 | | |

| 事業名 | 文化活動の情報発信 | 担当課・係 | 教育課社会教育係 |
|---|---|---|---|
| | | 評　価 | B |
| 主な事業費（決算額） | 看板製作設置委託料：605,000円 | | |
| 事業内容 | 町広報誌やホームページ等を活用し、文化関係の情報を積極的に発信するとともに関係団体の活動紹介の機会を設ける。 | | |

| | |
|---|---|
| 現状と課題 | ・「文化祭」では文化関係団体の活動紹介の場を提供した。<br>（芸能音楽祭は会場が衆議院議員選挙の投開票所となったため中止）<br>・町の偉人や功績、町に関わりのある歴史上の人物を後世に継承するため、学校教育においては積極的に学びを取り入れ、また公民館活動の一環として歴史講座や文化財講座等を開催した。<br>・町の歴史を観光資源として活用するため、史跡看板の状況の把握に努めた。劣化が激しい既存看板や新規に文化財指定された史跡の看板２基の設置等を行った。 |
| 求める成果 | 地域住民の文化活動をより活発化するとともに、啓発活動により文化活動の振興につなげる。 |

| | | | |
|---|---|---|---|
| 事業名 | 文化財保護事業 | 担当課・係 | 教育課社会教育係 |
| | | 評　価 | A |
| 主な事業費<br>(決算額) | 文化財講座講師謝礼：35,000 円 | | |
| 事業内容 | 町の歴史文化や文化財の調査研究と文化財保護に努める。 | | |
| 現状と課題 | ・町内だけでなく、町外に所在する町の関係資料調査を積極的に進めた。<br>・地域の歴史・文化を紹介する文化財講座を２回開催し、合計 96 名の参加者が集まった。<br>第１回　一宮本郷村の江戸時代〜『一宮町歴史叢書第２集』刊行報告〜<br>（教育委員会学芸員）<br>第２回　一宮藩の海防政策と九十九里地域（外部講師）<br>・毎月の町広報誌では、特集「関和知没後 100 年綱田の歴史と関和知」を計 9 回連載した。令和６年７月号で通算 100 回を迎えたため、令和６年 12 月号をもって毎月連載を終了し、今後は不定期掲載とする。<br>・文化財の興味・関心を高めるために積極的に広報・啓発活動に取り組み、町の文化活動が様々な媒体で紹介された。 | | |
| 求める成果 | 文化財の保護活用を進め、伝統文化の継承につなげる。 | | |

| | | | |
|---|---|---|---|
| 事業名 | 一宮町歴史資料展示室の企画展示 | 担当課・係 | 教育課社会教育係 |
| | | 評　価 | A |
| 主な事業費<br>(決算額) | 文化財保護消耗品費：40,148 円 | | |
| 事業内容 | 町の歴史の調査研究の成果並びに町の文化財が町内外の方々の眼に広く触れる機会として企画展示を行う。 | | |
| 現状と課題 | ・町には博物館・資料館施設及び文化財の収蔵施設がなく、町の“たから”である文化財に人々が触れることができる機会が限定的である。<br>・令和３年度より中央公民館２階ロビーを「一宮町歴史資料展示室」として開室している。温湿度管理ができないことから年４回展示を入れ替えるなど、見学者が飽き | | |

| | |
|---|---|
| | ずに楽しめる企画展示を開催した。新たに中央公民館１階ロビーでミニ展示を行った。令和６年度の実施事業は以下の通り。<br>第１回「未来へつむぐ“たから”～一宮町新収蔵資料展～」（４月 19 日～７月８日）<br>第２回「秋山章男氏没後５年　秋山先生と一宮の自然」（７月 26 日～９月 30 日）<br>第３回「絵葉書からみる近現代の一宮」（令和６年 10 月 18 日～12 月 23 日）<br>第４回「没後 100 年　関和知の手紙」（令和７年１月 17 日～３月 24 日）<br>ミニ展示「一宮藩と九十九里地域の海防」【中央公民館１階ロビー】<br>（12 月 13 日～令和７年１月 20 日）<br>・令和５年度から芳名簿を設置し、来訪者数の把握に努めた。未記帳者も多いが、参考数値として掲載する。<br>第１回：19 名　第２回：130 名　第３回：65 名　第４回：43 名 |
| 求める成果 | 文化財の普及啓発と町民の方々が文化財に触れ親しむ機会を創出する。 |

| 事業名 | 町史編さん事業 | 担当課・係 | 教育課社会教育係 |
|---|---|---|---|
| | | 評　価 | A |
| 主な事業費（決算額） | 町史編さん委員報酬：120,000 円<br>謝礼（町史編さん講座・調査員・原稿執筆）：395,400 円<br>印刷製本費：289,300 円　　消耗品費等：483,261 円 | | |
| 事業内容 | 『新編一宮町史』発行に向けて調査研究を実施する。 | | |
| 現状と課題 | ・昭和 39 年（1964 年）に刊行された『一宮町史』の再編さんに向け、令和４年 10 月に町内外の有識者による「編さん委員会」を設置し、令和 13 年度中の完成を目指して調査研究を行った。<br>・町史編さん事業の周知の一環として、『一宮町史研究』創刊号を３月に刊行した。一宮町の歴史や自然に関する最新の調査研究や講演会の記録に加え、一般からの投稿も掲載するなど、幅広い分野と内容の学術雑誌を作成した。<br>・令和４年度から開催している一宮町史編さん講座では、７月 27 日(土)に「一宮町の自然」と題して、町史編さん委員長で筑波大学名誉教授の吉田正人氏を講師に開催し、町内外から 55 名の参加があり、盛会裏に終えることができた。<br>・令和６年度は郷土の偉人・関和知の没後 100 年にあたり、「綱田の生んだ偉人・関和知の生涯と一宮町」と題して記念講演会を開催した。内容は、町教育委員会学芸員による報告「関和知と一宮町～書簡史料から～」、同志社大学社会学部教授・河崎吉紀氏の記念講演「メディア議員・関和知の活動」で、町内外から 86 名の参加があり、文化財関係の講演会としては最多の参加者数となった。<br>・マスメディア等を活用しながら随時、活動状況を発信し、地域の人々が関わることができる編さん事業として調整を図っていく。令和６年度は講演会や刊行物等について新聞にも複数回掲載され、広く活動の周知に繋がった。 | | |
| 求める成果 | 文化財の保護活用を進め、伝統文化の継承につなげる。 | | |

| 事業名 | 教育功労者表彰 | 担当課・係 | 教育課学校教育係<br>社会教育係 |
|---|---|---|---|
| | | 評　価 | A |
| 主な事業費<br>（決算額） | 感謝状・表彰状印刷代：47,520円 | | |
| 事業内容 | 町における教育、学術及び文化の振興に関し功績の著しい個人や団体を表彰し賞状又は感謝状を授与する。 | | |
| 現状と課題 | ・３月27日(火)、一宮町教育功労者表彰式を開催し、受賞者に表彰状を授与。<br>受賞者は以下のとおり。<br>【表彰状（17名・団体)】<br>・第58回全日本サーフィン選手権大会　SWキッズ優勝<br>一宮小学校５年　石田(いしだ)　海夏(みなつ)<br>・All Japan Cheerleading and Dance Championship USA All Star　Nationals 2024<br>全国大会 Junior 編制部門　第１位<br>一宮中学校１年　石川(いしかわ)　紗羽(さわ)　古賀(こが)　遥(はるか)　立花(たちばな)　るみな<br>大木(おおき)　菜(な)のは　曽我野(そがの)　華愛(かのん)　諏訪(すわ)　さくら<br>・令和６年度東京知事杯　第15回全国中学選抜U15レスリング選手権大会<br>女子の部66㎏級　第１位<br>一宮中学校２年　藤田(ふじた)　紫(むらさき)<br>・令和６年度東京知事杯　第15回全国中学選抜U15レスリング選手権大会<br>男子の部75㎏級　第３位<br>一宮中学校３年　藤田(ふじた)　親伯(みはく)<br>・笹川杯第13回関東少年少女空手道選手権大会　小学１年男子個人形の部　第３位<br>第２回千葉県少年少女空手道選抜大会　小学１年男子形の部　優勝<br>一宮小学校１年　神馬(じんま)　白桜(はくら)<br>・第24回千葉県小学生空手道選手権大会　小学４年女子組手の部　優勝<br>一宮小学校４年　神馬(じんま)　朱桜(すざく)<br>・第24回千葉県小学生空手道選手権大会　小学６年女子形の部　優勝<br>一宮小学校６年　神馬(じんま)　李桜(いお)<br>・第13回千葉県中学生空手道選抜大会　中学１年男子個人組手　第３位<br>一宮中学校１年　富塚(とみづか)　大輝(だいき)<br>・第14回横浜太鼓祭　大太鼓ジュニア部門　優勝<br>一宮小学校５年　笠原(かさはら)　朝日(あさひ)<br>・2023年度　MOA美術館全国児童作品展　金賞<br>一宮小学校４年　松田(まつだ)　珠季(たまき) | | |

| | |
|---|---|
| | ・パリ 2024 オリンピック競技大会　サーフィン競技　５位入賞<br>稲葉（いなば）　玲王（れお）<br>・第 46 回千葉県道場少年剣道大会　小学生団体の部　ベスト 16<br>一宮尚武会（いちのみやしょうぶかい）<br><br>【感謝状（10 名）】<br>・一宮町立東浪見小学校教頭（令和４年度～令和６年度）<br>酒井（さかい）　とみ子（こ）<br>・一宮町立一宮中学校教諭（平成 30 年度～令和６年度）<br>式田（しきた）　裕子（ゆうこ）<br>・一宮町立東浪見小学校学校医（平成３年度～令和７年２月６日）<br>一宮町立一宮中学校学校医（平成 31 年度～令和７年２月６日）<br>秋場（あきば）　齋（ひとし）<br>・一宮町文化財審議委員（平成 26 年６月～令和２年７月）<br>金澤（かなざわ）　悦子（えつこ）<br>・一宮町スポーツ推進委員（平成 13 年度～令和５年度）<br>小林（こばやし）　美和（よしかず）<br>・令和６年千葉県教育功労者表彰（社会教育）<br>山口（やまぐち）　周作（しゅうさく）<br>・令和６年度地域文化功労者表彰（文部科学大臣表彰）<br>森田（もりた）　厳男（いわお）　對馬（つしま）　昇（のぼる）　中村（なかむら）　敏夫（としお）　御園（みその）　敏夫（としお） |
| 求める成果 | 町の教育、学術及び文化における功績を称え、生涯学習の推進を図る。 |

| 事業名 | 懸垂幕・横断幕の掲示 | 担当課・係 | 教育課社会教育係 |
|---|---|---|---|
| | | 評　価 | A |
| 主な事業費<br>(決算額) | 横断幕・懸垂幕購入費：343,200 円 | | |
| 事業内容 | スポーツや文化の分野で優秀な成績を収めた個人や団体の懸垂幕又は横断幕を作成し、役場前に掲示する。 | | |
| 現状と課題 | ・令和６年度はスポーツ分野における全国大会優勝や世界大会出場が決定した選手の功績を称えて懸垂幕等を掲示した。<br>【懸垂幕】<br>①外房チアリーデイング COASTHERS99 パープルチーム<br>All Japan Cheerleading and Dance Championship USA All Star Nationals 2024　全国大会　Junior 編成部門　第１位 | | |

| | |
|---|---|
| | 世界選手権「The Summit」出場決定<br>②一宮中学校３年　藤田（ふじた）　親伯（みはく）・一宮中学校２年　藤田（ふじた）　紫（むらさき）<br>令和６年度東京都知事杯　第15回全国中学選抜U15レスリング選手権大会<br>男子の部　75kg級　第３位<br>令和６年度東京都知事杯　第15回全国中学選抜U15レスリング選手権大会<br>女子の部　66kg級　第１位<br><br>【横断幕】<br>①一宮小学校６年　神馬（じんま）　李桜（いお）<br>第24回千葉県小学生空手道選手権大会　小学６年女子形　優勝<br>一宮小学校４年　神馬（じんま）　朱桜（すざく）<br>第24回千葉県小学生空手道選手権大会　小学４年女子組手　優勝<br>全日本少年少女空手道選手権大会　出場<br>②一宮尚武会（いちのみやしょうぶかい）<br>第46回千葉県道場少年剣道大会　小学生団体の部　ベスト16<br>全国大会出場<br>③神馬（じんま）　白桜（はくら）<br>笹川杯第13回関東少年少女空手道選手権大会<br>小学１年生男子個人形の部　第３位<br>第２回千葉県少年少女空手道選抜大会　小学１年男子形の部　優勝<br>全国大会出場<br>④富塚（とみづか）　大輝（だいき）<br>第13回千葉県中学生空手道選抜大会中学１年男子個人組手　第３位<br>全国大会出場 |
| 求める成果 | 町の教育、学術及び文化における功績を称え、生涯学習の推進を図る。 |

●施策11　「するスポーツ」「みるスポーツ」「ささえるスポーツ」の推進

| 事業名 | 社会体育施設の運営 | 担当課・係 | 教育課社会教育係 |
|---|---|---|---|
| | | 評　価 | B |
| 主な事業費<br>(決算額) | ●臨海運動公園　修繕料：41,910円　工事請負費：1,746,800円<br>●振武館　修繕料：128,722円<br>●GSSセンター　修繕料：2,192,718円 | | |
| 事業内容 | 利用者の安全確保のため、各施設の老朽化に対応した修繕等を実施する。 | | |
| 現状と課題 | ・臨海運動公園（テニス場・ゲートボール場・野球場）、ＧＳＳセンター、振武館を町民のスポーツ活動やレクリエーションの場として提供した。 | | |

| | |
|---|---|
| | ・各施設は設置から 30 年以上経過し、老朽化が急速に進行しているため、利用者の安全を確保できるよう適宜修繕や工事を行った。<br>※臨海運動公園：トイレ修繕他２件、野球場ネット張替え工事１件<br>ＧＳＳセンター：屋根穴、排煙窓、床金具他 12 件<br>振武館：浄化槽１件<br>・各小中学校体育施設の無料開放は通常通り４月から実施し、空手やミニバス、バレーボール、野球、サッカー等の 13 団体が体育館やグラウンドを利用し、夜間や休日にスポーツ活動に励んだ。 |
| 求める成果 | スポーツレクリエーションの機会と場所を提供し、スポーツ活動や世代間交流の推進を図る。 |

| 事業名 | 生涯スポーツ | 担当課・係 | 教育課社会教育係 |
|---|---|---|---|
| | | 評　価 | A |
| 主な事業費<br>(決算額) | 消耗品費（さいかつボール）：30,800 円　町民スポーツ大会委託料：126,000 円<br>スポーツ推進委員大会等負担金：54,800 円　長生郡スポーツ協会町村負担金：571,000 円<br>NPO 法人一宮町スポーツ協会補助金：1,600,000 円 | | |
| 事業内容 | 各種スポーツの活性化、町民の健康増進につなげるため、スポーツに親しむ環境や機会、情報を提供する。 | | |
| 現状と課題 | ◆一宮町スポーツ推進委員<br>・スポーツ推進委員は指導者の育成・確保、質の向上を目的に長生地区スポーツ推進委員研修会に参加した。<br>・一宮町独自の軽スポーツ普及の一環として、「さいかつぼーる」の体験会を１月 18 日(土)、２月 15 日（土)、３月 22 日(土)を実施し、約 20 名が参加して新たなスポーツを楽しんだ。<br>※さいかつぼーる<br>変形した柔らかいボールを使用し、タッチバレーのルールで行う軽スポーツのこと。<br>・12 月８日（日）に地域住民の交流を深め、軽スポーツの普及推進を図る「長生地区スポーツレクリエーション祭」を開催し、「さいかつぼーる」を実施した。<br>◆ＮＰＯ法人一宮町スポーツ協会（以下「スポーツ協会」という。）<br>・スポーツ協会は町のスポーツ諸団体を統括し、専門部 15 部門とエンジョイスポーツクラブで構成されており、所属団体は競技力向上に努め、スポーツ指導体制強化の役割も果たしている。<br>・町民の体力維持や健康増進、各種スポーツに親しむことを目的にスポーツ協会を中心に町民スポーツ大会（テニス・ゴルフ）を開催した。<br>・９月 15 日(日)の町民テニス大会には 20 組が参加し、テニスの楽しさを知る機会となった。<br>・11 月６日(水)の町民ゴルフ大会には幅広い年代の 18 組 70 名が参加し、ゴルフを | | |

| | |
|---|---|
| | 通して交流を図った。<br>・様々な加盟クラブの活動等を紹介する「スポーツ協会ニュース」を町広報誌に毎月掲載し、最新の活動ニュースを発信した。<br>・町民の体力維持や健康増進を目的とした町の総合型地域スポーツクラブ「エンジョイスポーツクラブ」は、ボッチャやファミリーバドミントン、太極拳、ミニバレー等の種目を定期的に GSS センターで行った。幼児を対象に体操教室「ニコリ」を月２回開催するなど幅広い年代でのスポーツ活動推進に努めた。<br>・６月９日（日）、エンジョイスポーツクラブが中心となり、町内のスポーツ施設を会場に、スポーツ推進委員やスポーツ協会が連携し、複数のスポーツ種目を体験することができる「エンジョイスポーツの日」を開催した。約 100 名が参加し、ボッチャやバドミントン、剣道、テニス、グラウンドゴルフ、卓球、モルック、ボルダリング等 14 種目のスポーツを体験し、参加者同士が交流を図る貴重な機会となるとともに、パラスポーツの推進にも寄与した。<br>◆長生郡スポーツ協会<br>・令和５年度から引き続き、長生郡スポーツ協会の事務局を担当し、長生郡民スポーツ大会を開催した。<br>・６月から７月にかけて野球やテニス、柔道、剣道、バスケットボール等 17 種目の大会を実施し、スポーツ競技を通して地域住民の交流が活発に図られた。 |
| 求める成果 | スポーツレクリエーションの機会と場所を提供することで、スポーツ活動や世代間交流を活発化させ、生涯スポーツの推進を図る。 |